

朝霞市外部評価委員会（第2回）
次 第

日時 令和7年5月28日（水）
午後2時から
場所 朝霞市役所
別館5階 大会議室（奥）

1 開 会

2 議 事

（1）外部評価「子育てがしやすいまち」

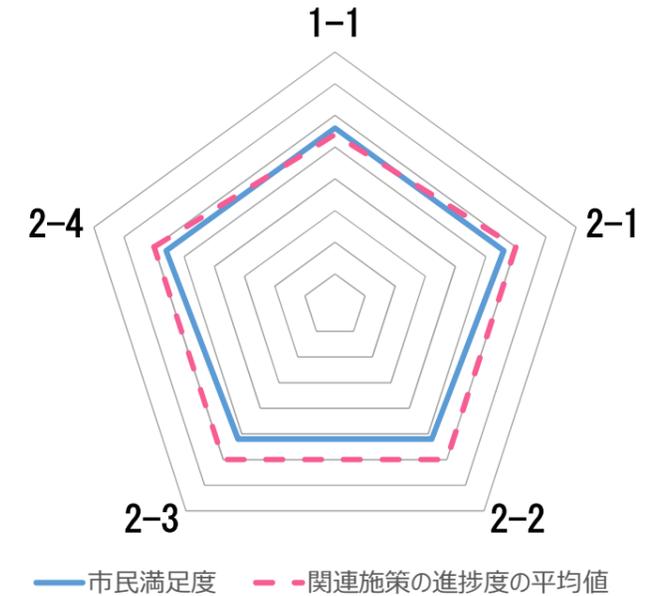
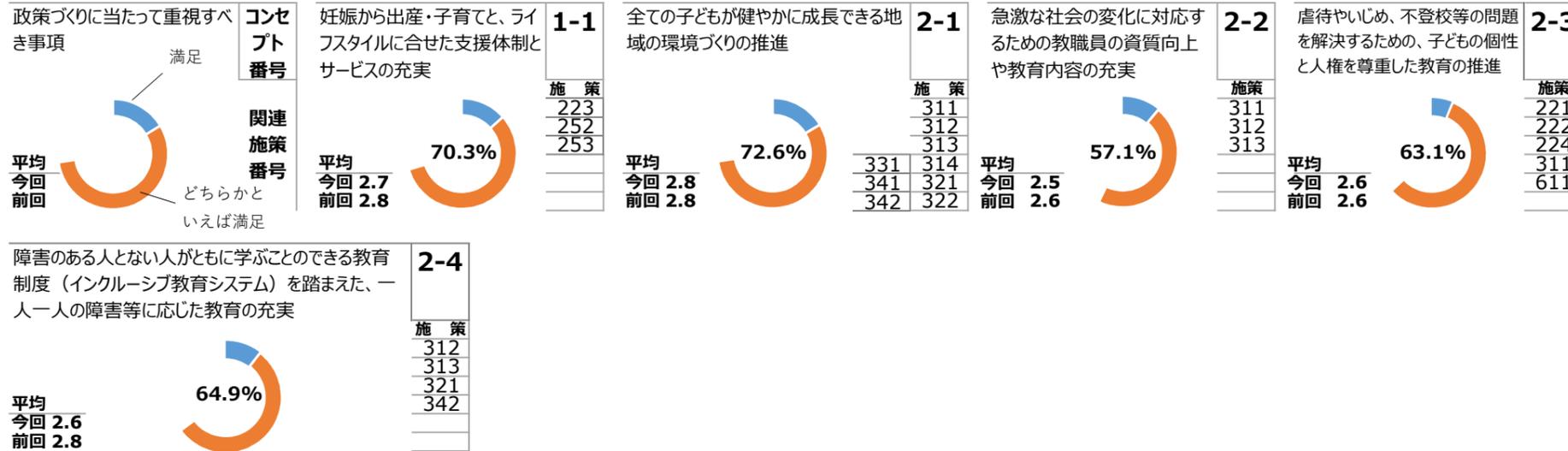
3 その他

4 閉 会

子育てがしやすいまち

市民満足度平均と進捗度平均の比較

市民満足度アンケート結果：4段階判定（4満足・3どちらかといえば満足・2どちらかといえば不満・1不満）



進捗状況（市の自己評価）：4段階判定（4極めて順調・3おおむね順調・2やや遅れている・1大幅に遅れている）

進捗度	施策コード	施策名	指標	進捗度	数値	進捗度	数値
今回		まちの状態を表す指標 (施策評価シートの指標)					
前回		総コスト (千円)		3	687,501	3	3,243,029
進捗度	221	要保護児童対策地域協議会実務者会議開催回数 (回)		3	6	3	34,000
進捗度	222	子育て支援センター利用者数 (人)		3	6	3	34,000
進捗度	223	幼児期等の教育・保育の充実	保育園待機児童数 (人)	3	7,977,844	3	1,201,847
進捗度	224	青少年の健全育成の充実	放課後児童クラブ入所保留者数 (人)	3	7,586	3	100
進捗度	225	保健サービスの充実	青少年を守り育成する家の数 (箇所)	3	517	3	100
進捗度	252	女性のがん (子宮頸がん・乳がん) 検診受診率 (%)	専門職が面談した妊婦の割合 (%)	3	96.3	3	100
進捗度	253	地域医療体制の充実	乳幼児のかかりつけ医普及率 (%)	3	78.7	3	100
進捗度	311	朝霞の次代を担う人材の育成	規律ある態度の達成状況 (%)	3	89	3	90
進捗度	312	確かな学力と自立する力の育成	学習状況調査における平均正答率を上回った科目数 (小学校) 2科目 (国・算)	3	2	3	3
進捗度	313	学習状況調査における平均正答率を上回った科目数 (中学校) 3科目 (国・数・外)		3	2	3	3

進捗度	313	「教科等指導員」を任命した教科等の数（教科）		進捗度	314	学校応援団の活動人数（人）	ふれあい推進事業の参加者数（人）	進捗度	321	事業参加者満足度（％）
3	質の高い教育を支える教育環境の整備充実			3	学校を核とした家庭・地域との連携・協働の推進			3	生涯学習活動の推進	
3	3,148,007	R5実績 R6見込 R7目標		3	111,659	R5実績 R6見込 R7目標	R5実績 R6見込 R7目標	3	42,558	R5実績 R6見込 R7目標

進捗度	322	事業参加者数（人）		進捗度	331	週1回以上スポーツを行っている人の割合（％）		進捗度	341	博物館展示回数（回）	博物館を授業等で使用した市内小中学校数（校）
3	学びを支える環境の充実			3	スポーツ・レクリエーション活動の推進			3	歴史や伝統の保護・活用		
3	952,728	R5実績 R6見込 R7目標		3	35,620	R5実績 R6見込 R7目標		3	85,314	R5実績 R6見込 R7目標	R5実績 R6見込 R7目標

進捗度	342	文化祭入場者数（人）		進捗度	611	人権に関する研修会・講演会参加者数（人）				
3	芸術文化の振興			3	人権教育・啓発活動					
3	9,113	R5実績 R6見込 R7目標		3	8,293	R5実績 R6見込 R7目標				

市民満足度アンケート自由記述欄（主なもの）

- 子育て支援全般
 - ・子供が幼稚園に入るまで、地域のつながりを持つことができず孤独を感じたので、気軽に参加できるイベントなど、何かしら地域の方とつながりを持てる機会があれば良かったと思う。
 - ・東京都のように給食無料化や公立学校学費補助金制度の導入をお願いします。
 - ・子育て中の人には学校等での困りごと、子どもの発達のことなど、それぞれ抱える悩みがあるため、若い転入者が気付きやすい相談窓口の紹介があるといいと感じる。
 - ・先日第二子を出産したが、母子手帳発行後の10万円給付等、数年前よりも金銭的給付が増えていてとても助かった。
- 保育・放課後児童クラブ
 - ・未就学児までのサポートは整ってきているが、児童クラブの定員が非常に少ない。（他4件）
 - ・待機児童が多すぎる。保育園を増やすか、受け入れ人数を増やすかしていただきたいです。（他3件）
 - ・保育園が不足していて希望通りにいかない。（他3件）
 - ・長期休みのみ利用できるような、子どもの居場所事業に力を入れてください。（他2件）
 - ・夏季休暇中は熱射病の心配から一歩も外に出ない日がほとんどだと聞くので、体育館を使えるようにするなど工夫してほしい。（他1件）
 - ・学童の施設もかなり古く、綺麗で容量も十分な学童を作って欲しい。
 - ・保育園がボロボロで建替えて欲しい。築年からして耐震性も怪しく思う。
 - ・保育園では職員が毎年たくさん退職され、園長が途中でやめたり、不在のままの期間があったり、転園を迫られそうになった年もありました。
 - ・学童にも育休中は預かってもらえないこともとても困っています。
 - ・保育室、園庭に監視カメラの設置をお願いします。

- 児童館・子育て支援センター
 - ・子育て支援センターに助けられているという話はよく聞く。（他3件）
 - ・支援センター、子供の室内遊び場も増やしてほしいです。（他1件）
 - ・ある程度利用年齢を絞ったり、エリアを区切るなどした、子育て支援施設があるといい。
- 学校
 - ・外観を見る限りですが、市内の公立小中学校の建物自体の老朽化が気になります。（他2件）
 - ・いじめられる側だけでなくいじめる側のケア、対応が必要だと思います。（他2件）
 - ・教職員の働き方改革などを進めていただきたいところです。（他1件）
 - ・小・中学校の教員が不足している問題は解決していないことが心配です。（他1件）
 - ・学区の小学校が遠く不安です。越境通学、スクールバスなどの運行はできないか、検討いただきたいです。（他1件）
 - ・小学校に関してはマンモス校が多く、学区の見直しなど検討して頂きバランスを考慮して頂きたいです。
 - ・さわやか相談室の利用者数は増えていると広報で見ました。このような施設の拡大(小学校など)や教室の充実に予算をさいていただき、親子ともに支えていただける場所であって欲しいと思います。
 - ・いじめや学級崩壊が起こりそうな小さな芽の早期対応など、多くの問題に対して市で共有して後手後手にならないように、市が率先して引っ張ってほしいです。
 - ・紙と鉛筆の方が暗記効果が良いとも聞くので、アナログとデジタルの長所を織り交ぜた教育が良いと思います。
- 給食
 - ・給食が年々質素になっていて、給食を食べたはずなのに子供がお腹を空かせて帰ってくる。（他3件）
 - ・給食を全ての学校で作って提供してほしい。

- 公園・自然
 - ・公園のルール(ボール禁止等)によって子供達が制限されすぎて遊べる公園が少ない。（他4件）
 - ・公園、自然が充実しているので嬉しい。（他3件）
 - ・公園の遊具に不備が多く、整備が追いついていない。（他2件）
 - ・公園にごみが落ちていたり、タバコを吸っている人がいて子どもを安心して遊ばせられない。（他1件）
 - ・公園を増やしてほしい。人口増に対して公園が増えていない。（他1件）
 - ・どろんこで遊べる公園が少ない。プレーパークのような子供が自由に遊べる場所を増やしてほしい。
 - ・各公園には防犯カメラを設置して安全を確保してほしい。
- 保健・医療・福祉
 - ・小児科など、病院から少し遠いところに住居があると、バスも限られていて通院が大変だった。（他1件）
 - ・子どもの健診は保健センターまで行かなくてはならず、遠くてとても不便でした。
 - ・障害児、障害者施設が足りていない。
 - ・発達障害にしても、人により様々な症状があり、対応される方も大変かと思います。いろいろな経験を持つ方などが、いろいろな支援をサポートできるよう、意見交換などが行える場があると良いかと思います。
 - ・発達障害児童への家庭→学校→たとえば学童との連携プレーをしてほしい。
 - ・発達障害について、相談できる枠が少ないのが気になっています。
 - ・高校生以降、手当や医療費補助が無くなるが、大学もお金がかかるので、手当を継続してほしい。
- 道路・交通
 - ・歩道が狭い、そもそもない、夜になると真っ暗になるなど、道路状況はまだ改善すべき点があると思います。
 - ・自転車の前後に子供を乗せて車道を走っている姿を頻繁に見るので、万が一を考えてぞっとするばかりです。
 - ・道路状況の悪さが不安要素となり、子供をひとりで遊びに行かせることができません。



221 子どもたちが健やかに育つ環境整備

担当課 こども未来課

関連課 保育課、健康づくり課、生涯学習・スポーツ課

目指す姿

子どもの権利が守られ、全ての子どもが安心して健やかに育つまちとなっている。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P64》



指標 1

要保護児童対策地域協議会実務者会議開催回数（回）

要保護児童などの適切な保護又は適切な支援を図るため、開催された要保護児童対策地域協議会実務者会議の回数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
6	6	6	6

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実施内容

【新規】

令和7年度から市内2校に設置する居場所提供型の放課後子ども教室の開設準備を行った。

【継続】

- ・児童相談所と連携を図り、こども未来課職員と家庭児童相談員で児童相談を実施した。
- ・里親宅において、児童を一定期間養育した（ショートステイ事業）。
- ・児童虐待対応をしつつ、子どもの成長過程で起こる様々な問題や心配事などの相談を受け付けた。
- ・支援が必要な家庭に対して、養育支援訪問事業を実施した。
- ・こども家庭センター開設に向けて、母子保健と児童福祉の一体的支援を実施していく準備を進めた。
- ・市内6校で行っているプログラム提供型の放課後子ども教室を引き続き実施する。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

該当なし

3 進捗状況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

- ・指標1については、概ね順調に推移しており、今後も要保護児童対策地域協議会の関係機関との連携を図りながら取組を進めていく。
- ・市内6校でプログラム提供型の放課後子ども教室を夏季休業中については、各校5日間、秋季・冬季については各校12回開催した。

【外的要因】

4 必要性

1 2 3 ④ … 社会的なニーズは増加傾向にある

- ・家族形態や児童を取り巻く環境が複雑多様化し、配慮や相談支援等が必要な家庭は全国的に増加傾向にあるため、子育て支援策に関する課題やニーズは、今後ますます増大するものとする。児童虐待の早期発見・未然防止のため、関係機関と連携し、こども家庭センターを中心に妊娠期からの切れ目のない支援が重要と考える。
- ・平日及び長期休業期間の居場所提供型の放課後子ども教室は開催希望が多く寄せられている事業である。小学校の余裕教室や特別教室を会場として実施するため、関係機関と調整を行いながら、拡充を図る。プログラム提供型も、長期休業中の居場所、土曜日の居場所として事業を継続していく。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費+人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	児童相談事業【再掲】	-	-	-	継続
2	子ども・子育て支援事業計画推進事業【再掲】	-	-	-	継続
3	ひとり親家庭支援事業	57,808	62,602	61,999	継続
4	ひとり親家庭生活支援事業	8,033	13,504	17,772	縮小
5	児童扶養手当給付事業	269,608	265,384	267,028	継続
6	母子施設入所事業	3,391	3,344	4,122	継続
7	育み支援バーチャルセンター事業（保育園巡回相談事業）	4,433	6,696	7,088	継続
8	育み支援バーチャルセンター事業（幼稚園巡回相談事業等）	17,672	18,657	18,213	継続
9	育み支援バーチャルセンター事業（学校巡回相談事業）【再掲】	-	-	-	継続
10	特別支援教育事業【再掲】	-	-	-	継続
11	児童館管理運営事業	286,156	306,514	307,038	継続
12	保育園運営事業【再掲】	-	-	-	継続
13	放課後子ども教室事業【再掲】	-	-	-	拡充
14	青少年健全育成事業【再掲】	-	-	-	継続
15	少子化対策事業	-	-	840	継続
16	子どもの居場所づくり支援事業	-	-	3,401	継続
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		647,101	676,701	687,501	

総コスト（事業費+人件費）の
経年変化 単位：千円

R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
647,101	676,701	687,501

6 現状と課題の分析

- ・児童虐待は全国的には年々増加傾向にあるため、SNS、ホームページ、広報等を活用し、子どもの権利の尊重・保護のため継続して意識啓発を図ることが必要である。
- ・相談内容は複雑・多様化しており、その対応も困難さを増している。児童虐待の発生予防、早期発見と重篤化防止のため、専門的かつ継続的な対応や支援体制のさらなる充実が必要である。
- ・小学校の施設を活用して実施する事業であり、学校と連携し、事業の継続、拡充に努める。

7 今後の展開

- ・児童虐待防止のため、要保護児童対策地域協議会を活用し、関係機関との連携強化や職員の専門性向上を図るなどし、児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応に努める。
 - ・母子保健と児童福祉の一体的支援を実施していくため、こども家庭センターの運営の充実にも努める。
 - ・市内6小学校でプログラム提供型を継続して実施する。
- 令和7年度から市内2校で居場所提供型の放課後子ども教室を実施する。

8 行政と市民の役割分担

- ・子育て支援施策の推進や児童虐待を防止するには、行政だけでは限界があるため、市民をはじめ、関係機関と連携し、それぞれの立場で、意見や評価をいただくことや、相互に役割分担をして進めること等が必要である。
- （市）児童虐待に関する通告や相談などに対して、迅速かつ適切な対応を行っていく。
- （市民）児童虐待に関する情報提供や地域での児童を見守る。
- ・プログラム提供型の放課後子ども教室は、講師として、地域の方々に講師に迎え事業を実施。居場所提供型は、運営事業を委託して実施する。

9 所管部の総括

- ・子どもの権利が守られ、全ての子ども、保護者が安心して、健やかに成長するための仕組みづくりや地域における環境づくりを推進するためには、行政と市民、関係機関等との協働が不可欠である。今後も要保護児童対策地域協議会を通じた連携や、虐待防止に係る周知啓発に努めていきたい。

222 子育て家庭を支えるための環境整備



担当課 子ども未来課
 関連課 保育課、健康づくり課

目指す姿

子育てに関する相談を気軽にできるなど、全ての家庭が安心して子育てをすることができるまちとなっている。

まち・ひと・しごと目標 基本目標 3 安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる

《後期基本計画冊子 P64》

指標 1 | 【まち・ひと・しごと】



子育て支援センター利用者数（人）

子育て中の親子の交流の場として、各種事業や子育てに関する相談を行っている子育て支援センターの利用者数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
56,085	59,684	60,000	34,000

指標 2 |

-

-

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

- ・令和7年度から令和11年度までを計画期間とする朝霞市子ども計画を策定するため、子ども・子育て支援事業計画部会及び子ども・子育て会議において検討を行った。
- ・子ども医療費支給事業において、助成対象を拡大し、入院・通院共に18歳到達後の年度末までとした。また、児童手当についても制度改正があり、所得制限を撤廃するなどし、多くの子育て世帯が支給対象となった。
- ・ひとり親家庭等に対し、児童扶養手当とひとり親家庭等医療費の所得制限を緩和したほか平日夜間や土日祝日の市役所の閉庁時にひとり親家庭等相談の窓口を設置し、相談支援の強化を図った。

【継続】

- ・子ども・子育て会議において、支援事業及び関連事業の進捗管理を行った。
- ・子育てに関する相談の受付や情報提供を子育て支援センターで行った。（延べ利用者数約60,000人）
- ・児童館6館の管理・運営を指定管理者の朝霞市社会福祉協議会が行った。（延べ利用者数約240,000人）
- ・ひとり親家庭等で学習支援教室に通っている子どもに対して、大学等を受験する際の受験料及び中学生・高校生の受験に向けた模試費用の一部を助成した。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【子ども・子育て会議】

- ・地域にセンターが広く認知されており、交流の場として目的を果たしている。
- ・子育て家庭の孤立がないよう、他市の産院などに積極的に告知が必要。支援員や相談員の研鑽も継続していただきたい。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

子育て家庭を支えるための環境整備の一環として整備している子育て支援センターは、気軽に相談できる地域拠点として定着しており、子育て支援として重要な役割を担うことができた。
 第2期朝霞市子ども・子育て支援事業計画（令和5年度分）の実施事業について、子ども・子育て会議で意見及び評価をいただき、報告書を作成した。
 令和7年度から令和11年度までを計画期間とする朝霞市子ども計画を策定することができた。

【外的要因】

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

家族形態や子育て環境の変化、転入などにより、相談相手が身近にみえず、育児不安や負担を抱える子育て家庭も多く、育児や子育てに関する様々な相談は、今後も増加することが想定される。相談体制の充実や地域における子育て支援策として、子育て支援センターや児童館など、気軽に集い、利用できる場の提供や事業の充実が必要になる。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費+人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	こども医療費支給事業	627,296	759,536	778,259	継続
2	子育て情報誌作成事業	739	186	1,119	継続
3	児童手当給付事業	2,145,004	2,070,112	2,366,068	継続
4	児童相談事業	49,501	37,624	46,830	継続
5	子ども・子育て支援事業計画推進事業【再掲】	-	-	-	継続
6	保育園運営事業【再掲】	-	-	-	継続
7	放課後児童クラブ運営事業【再掲】	-	-	-	継続
8	未熟児養育医療給付事業【再掲】	-	-	-	継続
9	子育て支援センター運営事業	27,922	45,925	50,753	継続
10	児童館管理運営事業【再掲】	-	-	-	継続
11	青少年健全育成事業【再掲】	-	-	-	継続
12	少子化対策事業【再掲】	-	-	-	継続
13	子どもの居場所づくり支援事業【再掲】	-	-	-	継続
14	子育て世帯（住民税非課税世帯）支援給付金（追加分）支給事業【再掲】	-	-	-	継続
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		2,850,462	2,913,383	3,243,029	

総コスト（事業費+人件費）の
経年変化 単位：千円

R4年度

2,850,462

R5年度

2,913,383

R6年度(見込み)

3,243,029

6 現状と課題の分析

・こども医療費支給制度は、子育て支援の重点施策の一つとして位置付け、限られた財源の中で、市が独自に対象要件を定め実施しているが、その支給額は年々増加傾向にあり、大きな財政負担となっている。

・こどもの貧困対策、こども・若者対策など今後対策を検討していく必要がある施策については、朝霞市社会福祉協議会や関係団体・NPO等との連携を模索する必要がある。

7 今後の展開

・全ての家庭が安心して子育てできるよう、地域における子育て支援策として、引き続き子育て支援センターや児童館など、気軽に集える場を提供するとともに、様々な情報発信や事業を通じ、利用者の増大を図っていく。

・こども医療の支給など子育て家庭のニーズが高く、経済的支援を行う対象者の多い事業については、財政的な負担の増大も踏まえ、制度維持の観点から、事業効果を検証する。

8 行政と市民の役割分担

・こどもの貧困対策支援に関し、こども食堂団体等を側面的に支援することで推進に寄与することができた。

・子ども・子育て支援事業計画の進捗管理を子ども・子育て会議委員に評価（外部評価）いただくことで、各種事業等の推進を図ることができている。また、次期計画の策定にあたり、昨年度実施したアンケート調査等の結果から本市の課題及び重点方針を設定、子ども・子育て会議委員から意見をいただき、計画策定に向けた取り組みができた。

9 所管部の総括

全ての子育て家庭が、「子育てがしやすいまち」と実感できるよう、引き続き、相談体制の充実や経済的な負担の軽減を図り、こどもの保健の向上と福祉の増進に努める。併せて、地域における子育て支援施設の提供や効果的な活用を踏まえ、多くの市民に利用いただくため、周知の面でさらに工夫する必要がある。また、こどもたちが犯罪や事故に巻き込まれない安心・安全な環境づくり等の充実に努める。

223 幼児期等の教育・保育の充実



担当課 保育課
 関連課 こども未来課

目指す姿

保護者の多様なニーズに対応でき、安心して安全な保育園・小規模保育施設・家庭保育室・放課後児童クラブが整備されている。

まち・ひと・しごと目標 基本目標 3 安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる
 (イ) 様々な保育需要に応じた環境づくり

《後期基本計画冊子 P64》



指標 1 | 【まち・ひと・しごと】

保育園待機児童数（人）

保護者の就労等の理由により、保育園に入園申請をしたにもかかわらず、入園することができなかった児童数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
21	9	17	0

《まち・ひと・しごと P40》



指標 2 | 【まち・ひと・しごと】

放課後児童クラブ入所保留者数（人）

保護者の就労等の理由により、放課後児童クラブに入所申請をしたにもかかわらず、入所することができなかった児童数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
69	64	225	0

1 実 施 内 容

【新規】

保育園等の待機児童解消を図るため、待機児童が多い小学校区の放課後児童クラブにおいて、受入れ定員の拡大（1支援単位10人）を行った。

【継続】

- ・公設保育園の管理運営（公営10園、民営2園）【分園を含む】
- ・民営保育園・認定こども園への給付費支給（37園）【分園を含む】
- ・小規模保育施設等への給付費支給（26施設）【居宅を含む】
- ・放課後児童クラブの管理運営（指定管理者制度、10施設）
- ・民間放課後児童クラブの運営補助（12施設）
- ・家庭保育室への運営費補助（2施設）
- ・私立幼稚園への利用料等補助（8園）
- ・子育て支援センター（さくら・きたはら）の管理・事業運営
- ・ファミリーサポートセンターの事業運営

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【子ども・子育て会議】

（保育園等）受入定員よりも入所児童数は少ないにもかかわらず、待機児童が出ている。待機児童の発生要因を分析して、待機児童の解消を望む。

（放課後児童クラブ）受け入れ定員の拡大など、保留児童解消に向けて取り組んでいるものの解消に至っていない。需要と供給に基づく計画的配置を継続して進める必要がある。

3 進 捗 状 況

1 ② 3 4 … やや遅れている

【判断の根拠】

保育園の待機児童数は年々削減できていたが、令和6年度は増加に転じた。保育需要の多い1、2歳児の受け入れ拡大に向け、小規模保育施設を令和7年度より1施設開所予定。

放課後児童クラブの待機児童数は大幅に増加したため、児童の放課後の居場所づくりの早急な実施に向け、昨年から引き続き庁内関係課で協議を行った。

令和7年度より、待機児童が多い第六小学校と第八小学校で放課後子ども教室を実施する予定。

【外的要因】

大規模開発などで子育て世帯の転入等により保育需要が拡大することが見込まれる。

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

本市における保育ニーズは引き続き高い状況にあるため、待機児童の解消に向けて現状の分析を行い必要な対策を進める必要がある。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費+人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	子ども・子育て支援事業計画推進事業	3,465	5,208	12,415	継続
2	家庭保育室支援事業	10,458	8,426	8,088	継続
3	子ども・子育て支援事業	4,590,274	5,021,630	5,099,817	継続
4	私立保育園就園費等補助事業	5,827	3,047	5,846	継続
5	私立幼稚園就園等助成事業	655,801	604,289	591,898	継続
6	保育園運営事業	1,165,896	1,197,947	1,350,837	継続
7	保育園施設改修事業	26,601	29,809	18,908	継続
8	保育園施設管理事業	138,331	119,587	121,378	継続
9	放課後児童クラブ運営事業	750,048	726,858	748,071	継続
10	子育て支援センター運営事業【再掲】	-	-	-	継続
11	ファミリーサポートセンター運営事業	7,931	8,654	9,889	継続
12	民間社会福祉施設整備費補助事業	103,211	7,440	5,223	継続
13	放課後児童クラブ施設管理事業	11,610	2,155	2,164	継続
14	子どもの居場所づくり支援事業【再掲】	-	-	-	継続
15	放課後児童クラブ施設改修事業	-	-	3,310	継続
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		7,469,453	7,735,050	7,977,844	

総コスト（事業費+人件費）の
経年変化 単位：千円

R4年度

7,469,453

R5年度

7,735,050

R6年度(見込み)

7,977,844

6 現状と課題の分析

本市における保育ニーズは引き続き高い状況にある。年齢別にみると0、3～5歳児については供給できているが、1・2歳児については不足している。放課後児童クラブについても、ニーズは高く待機児童が増加傾向にあるが、小学校ごとに需要にばらつきがある。

7 今後の展開

保育園等については、1・2歳の待機児童の解消に向けた方法について検討を行い、必要な対策を行っていく。放課後児童クラブは、児童の放課後の居場所づくりという視点で関係している庁内関係課と引き続き、放課後こども教室の実施などの対策を行っていく。

8 行政と市民の役割分担

- ・待機児童の解消に当たっては、保護者や関係事業者、学識経験者などで構成される、朝霞市子ども・子育て会議での意見を踏まえて検討をしていく。
- ・保育園等及び放課後児童クラブの運営については、保護者の意見を収集し、ニーズに沿った保育サービスの充実を図る必要がある。

9 所管部の総括

保育園等や放課後児童クラブなどの保育需要は高く、保育施設等の整備等を進めることで、待機児童や入所保留者の解消に努めてきた。一方、現状を分析したところ保育需要の偏在化がみられることから、より最適な待機児童対策を検討していく。

224 青少年の健全育成の充実



担当課 子ども未来課
 関連課 生涯学習・スポーツ課

目指す姿

学校、家庭、青少年の育成に関係する市民団体などとの協働による青少年健全育成活動が推進され、青少年が健全に育つまちとなっている。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P65》



指標 1

青少年を守り育成する家の数（箇所）

青少年を守り育成する家の趣旨に賛同し、協力する住宅・店舗・公共施設登録数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
527	517	510	550

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実施内容

【新規】

【継続】

- ・朝霞市青少年育成市民会議に補助金を交付し活動を支援した。
- ・ふれあい体験事業（5月）、青少年健全育成の集い（7月）、ふれあい標語の募集・表彰（10月）、地域安全マップ作成講座（11月）、機関紙「ひまわり」の発行（年2回）、駅頭キャンペーン（年1回）、「青少年を守り育成する家」の看板の設置の推進を実施した。
- ・成人の日に「朝霞市成人の日記念式典」を挙げる。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

青少年問題協議会において、朝霞警察署管内の犯罪動向や青少年の健全育成（令和6年度：朝霞市児童館における中高生対策事業等について）を議題とした会議を行い、啓発や対応の方向性について確認いただいた。

3 進捗状況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

- ・指標1について、個人宅において疾病や御逝去等の理由により登録抹消される方がいるが、R6年度においては、新たに4件の登録があった。集合住宅等においては、管理入室が備わっていないと協力を得るのが難しい状況である。
- ・参加率、満足度共に、概ね計画どおり実施できた。

【外的要因】

- ・市民との協働や関係団体との協力により、青少年健全育成事業を実施できている状況であるため、引き続き協力しながら事業の啓発や実施に努めていく。
- ・成人の日に「朝霞市成人の日記念式典」の参加率が上がっており、満足度も高いことから、事業を継続する。

4 必要性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

社会状況や家族形態等の変化により、青少年の自立や社会参加、地域とのつながりの希薄化が懸念されるなど、青少年を取り巻く環境は著しく変化している。また、SNSを介しての犯罪や薬物使用など、青少年が巻き込まれる事件・事故が顕在化しており、今後も増加することが考えられる。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費+人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	青少年健全育成事業	6,879	8,839	7,586	継続
2	成人の日記念式典事業【再掲】	-	-	-	継続
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		6,879	8,839	7,586	

総コスト（事業費+人件費）の
経年変化 単位：千円

R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
6,879	8,839	7,586

6 現状と課題の分析

- ・社会状況等の変化により、青少年と地域とのつながりの希薄化が懸念される中で、青少年の地域社会への帰属意識を醸成するとともに、社会参加意識を高めていくことが課題である。
- ・青少年の健全育成に関する施策を、さらに推進するためには、より多くの市民や関係団体が青少年の健全育成に関心を持ち、市や関係団体の取組みに積極的に関わっていくような体制づくりが必要である。
- ・成人の日記念式典の参加率が上がり、対象となる20歳の市民が会場となる市民会館に入り切らないため、パブリックビューイング会場を設けて開催している。令和7年度も同様に実施する。

7 今後の展開

- ・青少年の地域社会への帰属意識を醸成するとともに、社会参加意識を高めていくための機会の提供や取り組みを関係団体と検討する。
- ・関係団体や学校、事業者等と連携し、地域全体で取り組む体制づくりを推進し、補助金を交付している各団体の会員や賛同者を増やすため、広報やホームページ、機関紙などを活用し、引き続き、募集や周知に努める。
- ・引き続き、東洋大学、20歳になる各中学校の代表者に協力いただきながら、成人の日記念式典を実施する。

8 行政と市民の役割分担

- ・青少年健全育成は、地域や市民が大きな役割を果たすことが期待される施策であることから、補助金を交付する各団体の自主性を尊重しながら、行政として必要な支援のあり方を検討し、相互に協力や補完する体制づくりが必要である。
- ・市が主催し、東洋大学管弦楽団の演奏とともに進行する式典として実施。各中学校の卒業生に記念誌編集委員として、当日の進行等をお願いしている。

9 所管部の総括

情報通信機器やスマートフォンなどを低年齢から所持することが一因で、インターネット（SNS等）を巧みに利用した犯罪、危険ドラッグ等の薬物使用など、青少年が巻き込まれる事件や事故が全国的に広がる中で、行政が地域や家庭、学校、関係団体などと協働し、青少年が事件の加害者や被害者にならないよう、市民総ぐるみで青少年を守り育てることが重要である。青少年問題への市民の関心を高めるため、関係機関や関係団体等と連携しながら、引き続き、青少年の健全育成に関わる啓発活動や情報発信などを行っていく必要がある。

252 保健サービスの充実



担当課 健康づくり課

関連課 —

目指す姿

すべての市民が自分の健康についてよく理解、疾病の早期発見や予防を心がけている。

まち・ひと・しごと目標 基本目標3 安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる
 (ア) 妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の充実

《後期基本計画冊子 P74》



指標 1

女性のがん（子宮頸がん・乳がん）検診受診率（%）

子宮頸がん検診は20歳以上の女性
 乳がん検診は40歳以上の女性

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
子宮頸がん：7.3 乳がん：8.4	子宮頸がん：7.6 乳がん：8.6	子宮頸がん：7.6 乳がん：8.6	子宮頸がん：50 乳がん：50

《まち・ひと・しごと P39》



指標 2 【まち・ひと・しごと】

専門職が面談した妊婦の割合（%）

母子手帳交付時に面談した妊婦の割合

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
96.0	96.3	97.0	100

1 実 施 内 容

【新規】

第2期朝霞市自殺対策計画を策定。
 高齢者を対象に、新型コロナウイルスワクチンの定期予防接種（B類）を実施。
 50歳以上を対象に、任意接種である带状疱疹ワクチンへの補助を実施。

【継続】

- 母子保健では、新生児訪問、乳幼児健診、母子健康教育等各種事業の実施。
- 健康増進事業では、30代のヘルスチェック及び生活保護受給者の健康診査、各種がん検診事業等の実施。
- 歯科保健では、成人歯科健診、幼児歯科健診等の実施。
- 予防接種では、A類及びB類の各種予防接種を実施。
- 精神保健では、ゲートキーパー研修を実施。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

指標1については、横ばいで推移している。目標は国の掲げる値を採用しているが、現状では住民全体の検診状況を把握するすべが無いため、目標値と比較して考察することはできない状況である。
 指標2については、順調に推移。概ね目標を達成できている。

【まち・ひと・しごと】

妊婦本人が来所した際は必ず全員と面談し、代理申請の場合も電話や訪問等で本人からも情報を得よう努めた。

【外的要因】

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

がん検診事業をはじめとする、成人に対する各種の健（検）診事業は市民が自身の健康状態を把握し、健康への取組や必要な医療につながるために必要である。
 妊婦を取り巻く環境は複雑化しており、妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援が必要である。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費+人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	がん検診事業	209,383	208,399	226,804	継続
2	健康教育事業	3,960	2,840	4,291	継続
3	骨粗しょう症予防事業	5,087	4,376	8,802	継続
4	成人健康診査事業	11,773	11,027	10,959	継続
5	あさか健康プラン2 1 推進事業【再掲】	-	-	-	継続
6	乳幼児健康診査事業	35,185	35,586	36,699	継続
7	妊娠・出産包括支援事業	17,363	93,487	185,468	継続
8	妊婦一般健康診査等事業	119,758	117,118	123,764	継続
9	母子健康教育事業	6,663	6,277	6,803	継続
10	母子訪問指導事業	24,086	20,256	17,576	継続
11	未熟児養育医療給付事業	16,884	14,778	15,624	継続
12	育み支援バーチャルセンター事業（幼稚園巡回相談事業等）【再掲】	-	-	-	継続
13	歯科保健事業	3,800	6,205	5,686	継続
14	精神保健事業	4,359	2,490	6,653	継続
15	予防接種事業	494,345	494,340	549,904	継続
16	健康危機対策事業	4,099	2,356	2,814	継続
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		956,745	1,019,535	1,201,847	

総コスト（事業費+人件費）の
経年変化 単位：千円

R4年度

956,745

R5年度

1,019,535

R6年度(見込み)

1,201,847

6 現状と課題の分析

がん検診や乳幼児健康診査について、その重要性を市民に周知することにより、市民一人一人が健康行動がとれるよう、工夫する必要がある。

全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に支援を行う「こども家庭センター」の設置が求められている。

8 行政と市民の役割分担

（行政）市民の健康づくりのために十分な保健サービスを提供し、多くの市民がサービスを受けられる体制づくりを担う。

（市民）自分自身の健康志向を高め、周りの方々へ健康づくりの輪を広げ、健康づくりに取り組む。

7 今後の展開

乳幼児健康診査、がん検診や歯科健診などの受診率向上に向けて、更なる工夫を行うとともに、市民一人一人が健康行動をとれるよう、各種事業を推進する。

予防接種事業では、帯状疱疹ワクチンが令和7年4月から定期予防接種（B類）となる。

令和7年4月に、保健センター内に「こども家庭センター」を開設する。

9 所管部の総括

がん検診についてはおおむね例年どおり実施できた。

予防接種事業では、新型コロナウイルスワクチンを定期予防接種（B類）として実施し、来年度から帯状疱疹ワクチンが定期予防接種（B類）となるため、その準備を行った。

こども家庭センターの開設により、妊産婦への支援の充実につなげる。

253 地域医療体制の充実



担当課 健康づくり課

関連課 —

目指す姿

すべての市民が在宅医療、かかりつけ医、かかりつけ薬局などに対する意識が高く、身近な医療から高度な医療まで地域医療が充実している。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P74》



指標 1

乳幼児のかかりつけ医普及率（%）

乳幼児健診の受診児で、かかりつけ医を持っている割合

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
79.3	78.7	79.0	100

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実施内容

【新規】

【継続】

- ・在宅当番医制、小児救急医療支援事業、病院群輪番制など夜間、休日の救急体制の実施
- ・小児救急医療寄附講座の実施（慶応大学）
- ・早期不妊検査・不育症検査助成費補助事業及び早期不妊治療助成事業を実施
- ・献血事業の実施
- ・保健センターの管理

2 審議会等第三者機関の評価・意見

3 進捗状況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

指標 1 については、目標に届いておらず、横ばいの状況である。

医療体制については、例年通りの体制で運営できているが、かかりつけ医の普及について、市民への普及に課題がある。

【外的要因】

4 必要性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

医療機関が休診となる平日夜間や日曜日における救急体制を整備することは、市民の医療への安心、安全を守るうえで必要不可欠である。今後もこれらの体制を安定的に維持していく必要がある。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費+人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	献血者確保推進事業	1,912	2,297	1,558	継続
2	保健センター管理事業	17,912	14,004	18,355	継続
3	地域医療確保事業	30,159	31,457	30,365	継続
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		49,983	47,758	50,278	

総コスト（事業費+人件費）の
経年変化 単位：千円

R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
49,983	47,758	50,278

6 現状と課題の分析

救急医療体制の安定的な体制を維持していくことが重要である。かかりつけ医を持つよう周知するとともに、市民それぞれが救急医療に関して適切な受診行動がとれるよう、啓発が必要である。

8 行政と市民の役割分担

（行政）医療体制について、地域の現状をとらえ、必要な環境を整える。また、適切な受診行動が取れるよう、かかりつけ医を持つことの普及をすすめていく。

（市民）かかりつけ医をもち、適切な受診行動がとれるようになる。

7 今後の展開

適切な医療を受けられるよう、現在の医療体制を維持する。かかりつけ医を持ち、救急医療に関しての適切な受診行動を啓発するとともに、救急医療体制についても、維持していく。

9 所管部の総括

指標に関する進捗状況は、目標の8割弱にとどまっており、横ばい状態が続いているため、かかりつけ医についてのさらなる啓発が必要と考える。救急医療を含めた医療体制については現状を維持するとともに、市民それぞれがかかりつけ医を持ち、適切な受診行動がとれるよう、引き続き啓発を行っていく。

311 朝霞の次代を担う人材の育成



担当課 教育指導課

関連課 教育総務課、教育管理課、学校給食課

目指す姿

発達段階に応じた様々な教育活動により、児童生徒一人一人の豊かな心と健やかな体の育成が図られている。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P84》



指標 1

規律ある態度の達成状況（%）

全小・中学校を対象に実施される「規律ある態度」のアンケート結果における平均達成率

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
89	89	89	90

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

【継続】

- ・スクールカウンセラー 7 名を市内全小・中学校へ配置、さわやか相談員 5 名、サポート相談員 1 1 名を配置。
- ・朝霞市子ども相談室にスクールソーシャルワーカーを 3 名、教育相談員を 4 名配置。
- ・食育啓発リーフレット「あさかをたべる」の作成及びtetoruによる学校・家庭への一斉送付。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【外部評価委員会】

- ・スクールカウンセラー等の相談員が、全小・中学校に配置されているのはとても良い。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

- ・児童生徒の規律ある態度については、特に「時刻を守る」の項目では小・中学校ともに昨年度より達成率が上昇し、小・中の平均で 9 5 % を超えた。
- ・各小・中学校にスクールカウンセラーや各種相談員を、子ども相談室にスクールソーシャルワーカー、教育相談員を配置し、関係諸機関等とも連携しながら、様々な背景を抱える子どもたちに応じた支援を実施した。
- ・朝霞市食育推進委員会において、食育啓発リーフレット「あさかをたべる」を作成した。

【外的要因】

- ・不登校児童生徒数は全国的に増加傾向にあり、朝霞市でも不登校児童生徒数は過去最多となっている。その背景には様々な要因が複雑に絡み合うとともに、不登校児童生徒に対する考え方や個別のニーズに応じた支援のあり方が大きく変化してきている。

4 必 要 性

1 2 3 ④ … 社会的なニーズは増加傾向にある

- ・児童生徒を取り巻く社会状況も大きく変化し、ここ数年増加を続ける不登校や問題行動等に加え、SNSに関係するいじめやトラブルが頻発してきている。また、家庭環境も多様化し、食事のかたちも家庭により様々であり、食育のあり方について検討を重ねていく必要がある。また、家庭と連携を図りながら、ネットモラル教育の充実やICT機器の適切な使用方法を身に付けさせながら、児童生徒の豊かな心を育成していくことはますます重要になってくると思われる。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費+人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	教育委員会運営事業	5,333	5,394	7,674	継続
2	教育委員会事務局事務事業	3,931	3,901	6,798	継続
3	教育相談事業	44,192	44,376	55,499	継続
4	小学校図書整備事業【再掲】	—	—	—	継続
5	中学校図書整備事業【再掲】	—	—	—	継続
6	ふれあい推進事業【再掲】	—	—	1,996	継続
7	教育指導支援事業	25,164	25,354	22,332	継続
8	教職員研修事業【再掲】	—	—	—	継続
9	学校保険事業	12,073	12,892	12,790	継続
10	児童・生徒・教職員健康管理事業	55,088	55,186	58,206	継続
11	学校給食運営事業	930,247	979,999	1,002,563	継続
12	給食センター管理事業	146,416	124,083	125,652	継続
13	自校給食室管理事業	27,716	26,247	28,418	継続
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		1,250,160	1,277,432	1,321,928	

総コスト（事業費+人件費）の
経年変化 単位：千円

R4年度

1,250,160

R5年度

1,277,432

R6年度(見込み)

1,321,928

6 現状と課題の分析

・不登校児童生徒が抱える課題やその背景は多様化・複雑化しており、保護者によっては教育相談を実施することが難しい家庭もある。よりよい解決のためには、関係課や医療機関等、関係する部署との連携が一層重要となる。

・インターネットやオンラインゲームなどの発達により、こどもを取り巻く生活環境が大きく変化し、生活の中で体を動かす機会が減少してきている。

7 今後の展開

・様々なケースに応じた教育相談活動のさらなる充実を図る。特に、学校に行きづらい児童生徒の教育機会の確保に向け、タブレット端末を活用したオンライン授業への参加等のほか、A I ドリルの活用などを通して学びをとめない支援を行っていく。

・相談員やスクールソーシャルワーカー等による面談や家庭訪問を通して、積極的に情報を収集して実態を把握し、それぞれの家庭環境に応じた対応を図る。

・各小・中学校における体力向上推進委員会の活動を充実させ、各学校の実態に応じた児童生徒の体力向上のための取組を進める。

8 行政と市民の役割分担

不登校児童生徒への対応や食育推進活動においては、家庭との連携が不可欠のため、引き続き連携を推進していく。食育については、栄養教諭等による「食に関する指導」を担任とともに実施し、心身の健全な発達を担う教育を行うとともに、毎月の学校給食献立のほかアンケート結果を取り入れたリーフレットの配付を通して保護者に啓発活動を行い、今まで以上に食育の重要性を認識してもらう。

9 所管部の総括

こどもたちに確かな学力の育成を図るうえで、豊かな心と健やかな体を身に付けさせることは不可欠である。生徒指導や教育相談体制の整備充実を図り、教育効果のさらなる向上を目指し、広く家庭や地域との協力・連携を推進していく。また、社会福祉・医療など他機関との連絡調整を密に図り、児童生徒一人一人に寄り添った施策を、一層推進していく。

312 確かな学力と自立する力の育成



担当課 教育指導課
 関連課 教育総務課

目指す姿

主体的・対話的で深い学びにより、児童生徒一人一人が確かな学力を身に付けるとともに自立する力の育成が図られている。

まち・ひと・しごと目標 基本目標 3 安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる
 (ウ) 魅力ある教育の推進

《後期基本計画冊子 P84》



指標 1 | 【まち・ひと・しごと】

学習状況調査における平均正答率を上回った科目数（小学校）2科目（科目）

全国学力・学習状況調査（小学校）において、市の平均正答率が全国平均を上回った科目数（R4年は国算理の3科目）

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
3	2	2	2

《後期基本計画冊子 P84》



指標 2 | 【まち・ひと・しごと】

学習状況調査における平均正答率を上回った科目数（中学校）3科目（科目）

全国学力・学習状況調査（中学校）において、市の平均正答率が全国平均を上回った科目数（R4年は国数外理の4科目）

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
4	3	3	3

1 実 施 内 容

【新規】

- ・市内小・中学校に4名のICT支援員を配置。
- ・AI搭載型オンラインドリル「すらドリル」の導入。
- ・学習ポータル「まなびポケット」の導入。

【継続】

- ・小学校低学年補助教員を全小学校へ合計27名配置。
- ・あさか・スクールサポーターを全小・中学校へ合計17名配置。
- ・市内各小・中学校のコンピュータの活用の推進及び保守・点検。
- ・GIGAスクール構想により配備されたタブレット端末のリプレイス作業準備。
- ・朝霞市教育委員会研究開発学校の指定と研究発表会の開催。
- ・小学校英語指導助手を市内10校に対し7名配置。全小学校の3・4年生の各学級で外国語活動のチーム・ティーチングを実施。
- ・中学校英語指導助手を市内全中学校に各1名配置。英語担当教員とチーム・ティーチングを実施。
- ・通常学級における特別な支援を必要とする児童生徒支援員を市内関係各小・中学校へ3,000回以上派遣。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

特になし。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

- ・低学年補助教員やあさか・スクールサポーター、英語指導助手などの人的配置は計画通り実行できており、児童生徒一人一人へのきめ細かな学習支援・生徒指導を進めることができている。
- ・日本語を母語としない帰国児童生徒は依然高止まりの傾向である。そのため、日本語指導支援員の必要性は高い状況が続いている。
- ・教職員研修に関しては、研究開発学校の研究発表や校内研修が開催され、教職員の資質向上が図られている。

【外的要因】

- ・ICTを日常的に活用し、主体的・対話的で深い学びの推進が求められている。また、学校に行きづらい児童生徒に対し、オンラインドリル等による学習支援が不可欠となっている。

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

- ・小学校1・2年生における学習支援や生徒指導及び小学校3年生から中学校3年生までの学力向上に係る、個に応じた指導の充実を図るためには、小学校低学年補助教員やあさか・スクールサポーターなどの人的配置が不可欠である。
- ・GIGAスクール構想により配備された一人一台タブレット端末を、子どもたち自らが工夫して活用する力を育成する必要がある。小・中学校に配置したICT支援員が、校内ICTに係る教育環境の整備を進めていくことがますます望まれる。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費+人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	教育指導支援事業【再掲】	-	-	-	継続
2	教職員研修事業【再掲】	-	-	-	継続
3	小学校図書整備事業【再掲】	-	-	-	継続
4	中学校図書整備事業【再掲】	-	-	-	継続
5	特色ある学校づくり支援事業【再掲】	-	-	-	継続
6	進路学習事業	1,245	1,189	1,478	継続
7	国際理解教育事業	63,637	65,854	77,244	継続
8	日本語指導充実事業	3,544	3,116	2,910	継続
9	小学校コンピュータ整備事業【再掲】	-	-	-	継続
10	中学校コンピュータ整備事業【再掲】	-	-	-	継続
11	育み支援バーチャルセンター事業（学校巡回相談事業）	757	744	746	継続
12	小学校特別支援学級事業	28,961	30,278	33,985	継続
13	中学校特別支援学級事業	11,440	11,694	14,770	継続
14	特別支援教育事業	23,704	22,416	24,793	継続
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		133,288	135,291	155,926	

総コスト（事業費+人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度 133,288	R5年度 135,291	R6年度(見込み) 155,926
------------------------------	-----------------	-----------------	----------------------

6 現状と課題の分析

多様な子どもたちに学びを保障することのほか、発達に課題を抱える子どもの増加を背景に、小学校低学年補助教員やあさか・スクールサポーターなどの支援員増員とその資質向上が求められる。また、GIGAスクール構想において配備されたタブレット端末が更新の時期を迎え、その整備が急がれる。さらに、タブレット端末の効果的な活用を目指し、教職員の活用能力向上を図るとともに、ICT支援員による学習支援を充実にしていく必要がある。子どもたちの適切な活用については保護者への啓発等も必要となってくる。

7 今後の展開

今後も、低学年補助教員、あさか・スクールサポーター、特別支援学級補助員等の学校現場への人的配置については、望ましい配置をしていく。また、学校の課題解決に対応した配置となるよう、それぞれの学校の実態を適切に把握する。また、子どもたちが学ぶための学習基盤としてICTを活用できるよう、教員の指導力向上を図る。

8 行政と市民の役割分担

朝霞で育つ子どもたち一人一人のよさや可能性を伸ばすために、確かな学力の定着を図るとともに、豊かな体験活動を通して、他者と協働する力を育むため、行政と市民の関与バランスを維持する。また、中学校部活動の地域移行を進めていくなか、地域人材の活用をはじめとする地域との連携が不可欠である。市内全ての小・中学校がコミュニティ・スクールとして、学校が核となり、連携・協働を進めていく。

9 所管部の総括

・児童生徒一人一人へのきめ細やかな学習支援、生徒指導という点で、市独自の人的配置は大変効果的である。また、教育研究奨励費を活用した若手教職員の自己研修や研究開発学校助成を活用した学校研修についても、教員の資質向上には欠かすことができないものである。
・一人一台のタブレット端末については、学習における活用・指導面での充実が求められている。指導の個別化及び学習の個性化を図ることにより、一人一人の資質・能力を高める教育を推進していくことが必要である。

313 質の高い教育を支える教育環境の整備充実



担当課 教育総務課

関連課 教育管理課、教育指導課、学校給食課

目指す姿

学校施設の改修や教職員の資質・能力の向上を図ることなどにより、児童生徒が安全で安心して学びやすい環境で学校生活を送っている。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P85》



指標 1

「教科等指導員」を任命した教科等の数（教科）

指導のリーダーとなる知識や技術を持つ「教科等指導員」を任命する教科等の数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
13	2	5	15

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

小学校少人数学級に対応するため普通教室への転用工事の実施（朝霞第三小学校）
朝霞第十小学校大規模改修工事
学校施設長寿命化基本方針を計画に改訂

【継続】

朝霞第六小学校増築工事
朝霞第九小学校増築工事
朝霞市教育委員会研究開発学校の指定（朝霞第三小学校、朝霞第四小学校、朝霞第一中学校）と研究発表会の開催。
中学校自由選択制の実施。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

・不登校児童の増加への対応や更なる学びの確保が重要であり、今後、ソフト、ハード面ともに多様なニーズへの対応が必要となる。そのため、教育委員会内各課の情報交換を密にし、必要に応じて環境整備のための事業展開を行っていく必要がある。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

「教科等指導員」を任命したり、外部講師を招聘した研修を実施したりすることにより、教職員の資質向上を図った。学校の修繕等は校舎、体育施設、屋外環境の工事等を実施し、快適で安全・安心な教育環境の整備に努めた。小学校の少人数学級への対応のため、普通教室への転用改修工事を実施するとともに、朝霞第六小学校と朝霞第九小学校の増築工事が完了した。学校施設長寿命化基本方針に基づき朝霞第十小学校の大規模改修工事に着手した。中学校自由選択制は124人の申請・許可を行い、うち第五中学校の特認校利用者は27人であった。引き続き、通学区域の弾力化並びに第五中学校の活性化に務めている。

【外的要因】

公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律の施行（令和3年4月1日）に伴い、令和7年度までに小学校の学級編成を段階的に40人から35人に引き下げた。

4 必 要 性

1 2 3 ④ … 社会的なニーズは増加傾向にある

教職員の資質向上のためには教職員研修が不可欠であり、各種、研修を充実していく必要がある。学校施設は施設の長寿命化を図るため改修等を計画的に実施していく必要があるとともに、改築・改修等について計画を策定していく必要がある。また、過大規模となっている学校があり、対応策についても検討していく必要がある。また、特認校制度は第五中学校の活性化のために継続する必要があり、自由選択制度は就学指定校の変更を弾力的に運用することから引き続き必要となる。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費+人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	教職員配置事業	27,612	28,485	36,599	継続
2	教職員研修事業	12,133	15,054	14,354	継続
3	教育指導支援事業【再掲】	-	-	-	継続
4	児童・生徒・教職員健康管理事業【再掲】	-	-	-	継続
5	特色ある学校づくり支援事業【再掲】	-	-	-	継続
6	交通指導員配置事業	64,963	66,076	78,869	継続
7	給食センター管理事業【再掲】	-	-	-	継続
8	自校給食室管理事業【再掲】	-	-	-	継続
9	学校環境衛生事業	4,184	4,368	4,466	継続
10	小学校コンピュータ整備事業	61,261	63,779	105,849	継続
11	小学校運営事業	107,279	112,322	111,397	継続
12	小学校教育振興事業	12,996	13,816	18,036	継続
13	小学校教材教具整備事業	20,070	19,079	54,067	継続
14	小学校施設改修事業	105,362	118,845	154,119	継続
15	小学校施設管理事業	279,782	240,617	183,246	継続
16	小学校図書整備事業	17,467	17,745	19,677	継続
17	中学校コンピュータ整備事業	27,460	28,760	53,410	継続
18	中学校運営事業	71,869	73,042	70,399	継続
19	中学校教育振興事業	26,137	32,341	25,505	継続
20	中学校教材教具整備事業	11,608	11,253	12,693	継続
21	中学校施設改修事業	432,401	186,390	40,015	継続
22	中学校施設管理事業	141,490	122,690	87,372	継続
23	中学校図書整備事業	10,354	10,747	11,789	継続
24	就学・学齢簿整備事業	4,790	4,910	5,285	継続
25	小学校教育扶助事業	42,114	47,777	57,855	継続
26	第五中学校活性化対策事業	25,103	24,536	31,878	継続
27	中学校教育扶助事業	43,740	48,253	56,912	継続
28	通学区域整備事業	1,108	1,116	1,119	継続
29	入学準備金・奨学金貸付事業	23,282	19,819	22,751	継続
30	小学校特別支援学級事業【再掲】	-	-	-	継続
31	中学校特別支援学級事業【再掲】	-	-	-	継続
32	学校運営協議会事業【再掲】	-	-	-	継続
33	第六小学校校舎増築事業	0	203,720	1,071,481	休止・廃止
34	第九小学校校舎増築事業	0	203,720	793,313	休止・廃止
35	小学校少人数学級整備事業	100,749	16,907	14,003	休止・廃止
36	学校施設長寿命化計画策定事業	-	0	11,548	継続
37					
38					
計（単位：千円）		1,675,314	1,736,167	3,148,007	

総コスト（事業費+人件費）の
経年変化 単位：千円

R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
1,675,314	1,736,167	3,148,007

6 現状と課題の分析

教育環境の充実のため、児童・生徒数の推移や施設の状況を的確に把握し、改修工事の必要性や緊急性を判断し、計画的に改修工事を実施していく必要がある。
また、過大規模となっている学校について、対応策を検討していく必要がある。

7 今後の展開

教職員研修は、教職員の資質向上のため内容を充実させて引き続き実施していく。学校施設の改修・改築等については、計画的に実施していくため、令和7年度に学校施設長寿命化基本方針を長寿命化基本計画へと改訂する。中学校における特認校制度及び中学校自由選択制度については今後も継続し、魅力ある学校づくりを目指していく。

8 行政と市民の役割分担

児童・生徒の意見を取り入れながら、教育環境の充実を推進していく。

9 所管部の総括

デジタル学習基盤を活用した学びを充実させるとともに、教職員の研修などを行い指導力向上を図る。学校施設の修繕は、緊急性などを判断し、計画的に実施することができた。少人数学級対応については、朝霞第六小学校、朝霞第九小学校の増築校舎が完成し、教育環境を整備することができた。中学校における特認校制度及び中学校自由選択制度については引き続き実施し、魅力ある学校づくりを行った。

314 学校を核とした家庭・地域との連携・協働の推進



担当課 教育指導課

関連課 生涯学習・スポーツ課、教育管理課

目指す姿

学校において地域の人材が教育活動に関わることで、地域に根ざした特色ある学校づくりが推進されている。また、地域における奉仕活動・体験活動・防犯活動等を推進することにより、地域で子供を育てる意識が醸成され、地域の教育力が活性化している。

まち・ひと・しごと目標 基本目標3 安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる
(ウ) 魅力ある教育の推進

《後期基本計画冊子 P85》



指標 1

学校応援団の活動人数（人）

市内小・中学校で1年間に活動した学校応援団の総人数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
1,915	2,125	1,848	3,850

《まち・ひと・しごと P41》



指標 2 【まち・ひと・しごと】

ふれあい推進事業の参加者数（人）

中学校区ごとに実施しているふれあい推進事業に参加した方の延べ人数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
5,495	7,817	6,886	7,500

1 実 施 内 容

【新規】

・学校運営協議会を朝霞第四中学校で立ち上げ、新たに合計10名を委員に任命した。

【継続】

・各小・中学校において、地域の様々な分野の専門的な知識や技能を有する地域の方々を、支援員として授業や部活動、教育環境整備等に活用する。
・学校運営協議会を市内小・中学校全校に設置。
・活動を継続した団体（サークル3団体、PTA4団体）に対し、補助金を交付するなど支援を行うとともに、家庭教育学級の活動報告集を作成、配付し、次年度の活動に向けた周知・啓発を行った。
・家庭教育学級合同講演会を開催でき、参加した保護者からも好意的な意見を多くいただいた。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

・該当なし

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

・各学校において、様々な分野の専門的な知識や技能を有する地域人材を支援員として授業等で積極的に活用し、特色ある学校づくりをそれぞれの学校の実態を踏まえて進めている。
・市内小・中学校全てがコミュニティ・スクールになったことに伴い、地域や関係機関との連携の在り方について、これまでの教育活動を見直すことができた。
・ふれあい推進事業については、中学校区の全てでふれあいまつり開催に向けた委員会が実施できた。（一つの中学校区では当日雨天のため中止）
・個別に開催している家庭教育学級に対しては、引き続きの支援を行い、家庭での教育の推進に努めていく。

【外的要因】

・個々の家庭教育学級ができる限り工夫し、学習活動に取り組んでいる。

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

・日常生活の中で、社会のルールやモラル等をはじめ、多様な価値観の存在を子どもたちに教え伝えていく上で、大人の側の学びも重要なものとなっており、家庭教育学級の必要性は高い。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費+人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	学校運営協議会事業	3,885	3,179	5,288	継続
2	ふれあい推進事業	1,886	1,994	1,996	継続
3	音楽活動事業	6,170	6,654	6,638	継続
4	特色ある学校づくり支援事業	66,948	75,775	94,531	継続
5	家庭教育推進事業	2,206	2,565	3,206	継続
6	交通指導員配置事業【再掲】	-	-	-	継続
7	放課後子ども教室事業【再掲】	-	-	-	拡充
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		81,095	90,167	111,659	

総コスト（事業費+人件費）の
経年変化 単位：千円

R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
81,095	90,167	111,659

6 現状と課題の分析

- ・特色ある学校づくり支援事業では、数値に表れない学校応援団等、ボランティアによる支援が行われている学校もある。今後、社会に開かれた学校づくりという面でも、コミュニティ・スクールの立ち上げを一つの契機として、地域と一体となった学校づくりを推進していく必要がある。
- ・ふれあい推進事業は、地域に根ざした活動となっているが、新型コロナウイルス感染症に収束の兆しが出てきており、地域と一体となった学校づくりに位置付け、改めて実施内容等を検討していく必要がある。
- ・家庭教育学級を継続している団体もある。家庭教育学級を運営する団体等に対して、きめの細かい支援を行っていく。

7 今後の展開

- ・事業としての取組を継続して推進していくと同時に、ボランティアの活用を含めた内容の充実を図る。
- ・市内小・中学校15校のすべてに設置した学校運営協議会により、学校・家庭・地域のつながりをさらに深めていく。
- ・世帯構成が多様になり、それぞれのライフスタイルも多様化しているが、子どもに対する家庭教育の在り方・姿勢について、講演会や研修会を通して、周知・啓発を継続していく。

8 行政と市民の役割分担

- ・ふれあい推進事業など、すでに市民参加による活動が定着してきている。また、特色ある学校づくり支援事業においても、地域住民の協力が増えてきている。
- ・引き続き、学校・家庭・地域が連携した取組を継続していく。また、今後、「社会に開かれた学校」から「社会とともにある学校」へと改革を進めるには、学校と地域住民の方々との連携・協働がこれまで以上に必要となってくる。

9 所管部の総括

- ・今後も各学校においては、学校応援団とのさらなる連携をしていく必要がある。一方、学校・家庭・地域の連携を図るためには、地域とともにある学校づくりが求められている。今年度は、市内小・中学校全校に学校運営協議会を設置することができた。引き続き、地域の教育力を生かすとともに、学校を核とした活動をより一層推進し、学校・家庭・地域の連携強化につなげられるような施策の充実を図りたい。今後も、学校教育と生涯学習の連携が必要になってくると思われる。

321 生涯学習活動の推進



担当課 生涯学習・スポーツ課

関連課 —

目指す姿

市民の学習ニーズに応えた学習や学習情報の提供及び活動の充実が図られ、いつでも、どこでも、誰でもが学べる生涯学習環境が整っている。また、市民による自主的な活動が活発に行われるとともに、学習の中心となる人材の育成と活用が図られている。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P88》



指標 1

事業参加者満足度（％）

生涯学習各種事業における満足度

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
93.1	92.6	92.8	92.0

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

令和7年度から市内2つの小学校で開始する居場所提供型の放課後子ども教室の開設準備を行った。

【継続】

- ・社会教育委員会議を3回開催した。会議では、第3次生涯学習計画後期期間の進捗管理を行うとともに、生涯学習施策の推進体制等について建議いただき、方向性が明示された。
- ・生涯学習ガイドブック「コンパス」を発行し、生涯学習情報の周知を図った。また、市民等の自主的な学習活動に対し、補助金を交付し、団体等の活動支援を行った。
- ・市民企画講座、生涯学習体験教室、放課後子ども教室など各種事業を実施し、事業の推進に努めた。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【外部評価】

総合的に施策全体を効率化する上で、ICT化を推進するのは大きな要素と考えている。そのためには市民のICTに対する理解やスキルを底上げして市民の大多数が使える、使えて当たり前という状況が作り出せるとやり方が大きく変われるのではと思う。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

従来どおり社会教育委員会議を3回開催した。うち1回は、視察研修会を実施。志木市「放課後志木っ子タイム」を視察し、放課後子ども教室についての知見を深めていただいた。会議では、第3次生涯学習計画の後期期間における令和5年度の事業評価について建議いただくとともに、計画の進捗管理等について、ご意見等いただいた。また、生涯学習部における事業報告と事業計画についてお諮りし、ご意見をいただくことで、本市の生涯学習の方向性が示された。

【外的要因】

生涯学習体験教室において、人生100年時代の健康、終活などをテーマとする講座が多く開催され、多くの方に参加いただいた。市民ニーズの変化をとらえた事業展開となったと考える。

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

生涯学習体験教室で、市民ニーズをとらえた多様なテーマの講座が実施されており、終活などより身近で実用性の高いテーマの講座に参加者が多く、満足度も高かった。市民の自主的な学びを支援する事業を通じて、継続的な学びを支援していく。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費+人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	人権教育振興事業	6,804	8,837	5,444	継続
2	成人の日記念式典事業	11,528	12,347	7,154	継続
3	生涯学習啓発推進事業	15,356	21,212	18,894	継続
4	放課後子ども教室事業	12,407	11,963	11,066	拡充
5	家庭教育推進事業【再掲】	—	—	—	継続
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		46,095	54,359	42,558	

総コスト（事業費+人件費）の
経年変化 単位：千円

R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
46,095	54,359	42,558

6 現状と課題の分析

インターネットなどにより、自身の都合でさまざまな分野について学習できる状況となっており、社会教育施設を活用することなく、情報交換や学習の場を作り出すことができるようになっていく。

8 行政と市民の役割分担

第3次朝霞市生涯学習計画に則り、市は市民の学びを支援し、市民が学び合い、教え合うといった、「知の循環型社会」が構築されていくよう、サポートに努める。また、市は市民とともに協働で学習活動が推進されていくように事業展開を推進する。

7 今後の展開

生涯学習施策の根幹である「第3次朝霞市生涯学習計画」を基に、多様な学習プログラム、生涯学習情報の提供に努めていく。本計画の基本理念である「一人一人が心豊かにともに学び生きるまち あさか」を実践し、市民が主体的に学び、生涯学習を通じた地域や家庭で共に学びあう社会の実現に向けた生涯学習施策を推進する。

9 所管部の総括

令和6年度は生涯学習施策全般について、概ね従前のおりに運営することができた。地域の大学や民間事業者との新たな取組としての事業の拡充を図るとともに、従前からの生涯学習事業を見直し、ニーズに応えられる事業となるよう努め、生涯学習施策の推進に努めていく。

322 学びを支える環境の充実



担当課 中央公民館
 関連課 図書館、文化財課

目 指 す 姿

「いつでも」、「どこでも」、「誰でも」が学べる施設運営が図られ、市民ニーズに応じた学習、文化活動が充実することにより、市民は教養や健康の維持向上を図る機会を享受し、豊かな社会生活を営んでいる。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P88》

指標 1



事業参加者数（人）

公民館、図書館、文化財課が行う生涯学習事業の参加者総数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
31,723	24,996	31,068	70,000

指標 2



—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

- ・公民館では、中央公民館長寿命化改修工事及び南朝霞公民館空気調和設備改修工事の設計業務委託のほか東朝霞公民館空気調和設備改修工事、北朝霞公民館空気調和設備改修工事を実施した。
- ・博物館では、外壁等改修工事及び受水槽ユニット改修工事を実施した。

【継続】

- ・公民館では、各種主催事業の実施、利用団体への部屋の貸出しを行った。また、施設の維持管理、必要な修繕を実施した。
- ・図書館では、資料の適切な選定、収集、保存、提供及び各種事業の実施により、市民の生涯学習活動の推進を図った。
- ・博物館では、展示、教育普及、資料調査、資料保存及び施設の維持管理を実施した。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

・各審議会において、事業計画や新規の取組みなどについて承認をいただいた。今後も利用者のニーズを把握しながら運営を行うよう意見をいただいた。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

- ・公民館では、事業は当初の計画通り概ね実施することができた。また、施設改修も計画的に行われている。
- ・図書館では、利用者への安定的な資料提供を行うとともに、施設管理について必要な修繕を行うことができた。
- ・博物館では、可能な限り定員や回数を増やして事業を展開した。

【外的要因】

事業参加者も前年と比較し増加しており新たな事業展開も念頭に置き、取り組んでいく。

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

生涯学習における様々な学びを支えるため、中央公民館、文化財課、図書館ともに、今後もそれぞれの事業の継続が必要である。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費+人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	西朝霞公民館運営事業	13,147	11,815	13,294	継続
2	中央公民館運営事業	22,908	14,791	17,188	継続
3	東朝霞公民館運営事業	13,868	14,582	16,311	継続
4	内間木公民館運営事業	12,847	10,690	13,513	継続
5	南朝霞公民館運営事業	11,615	11,927	14,108	継続
6	北朝霞公民館運営事業	17,044	17,225	15,447	継続
7	図書館運営事業	146,888	150,668	151,050	継続
8	図書館北朝霞分館運営事業	66,607	67,117	71,474	継続
9	博物館運営事業	44,642	38,673	41,987	継続
10	西朝霞公民館管理事業	14,753	14,150	15,077	継続
11	中央公民館管理事業	39,362	32,603	35,818	継続
12	東朝霞公民館管理事業	16,629	15,491	14,050	継続
13	内間木公民館管理事業	14,288	15,761	16,281	継続
14	南朝霞公民館管理事業	15,937	15,407	15,207	継続
15	北朝霞公民館管理事業	16,175	13,080	13,173	継続
16	図書館管理事業	35,020	32,892	36,965	継続
17	図書館北朝霞分館管理事業	2,734	3,399	3,646	継続
18	博物館管理事業	46,715	41,405	41,296	継続
19	施設改修事業（公民館）	86,697	47,278	254,157	継続
20	施設改修事業（博物館）	30,053	7,028	152,686	継続
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		667,929	575,982	952,728	

総コスト（事業費+人件費）の
経年変化 単位：千円

R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
667,929	575,982	952,728

6 現状と課題の分析

公民館、図書館、博物館いずれも、引き続き適切な施設の維持管理を行うとともに、情報ツールや学習方法が多様化している中、どの年齢層にも魅力ある事業の企画などにより、地域における生涯学習活動の拠点として努める必要がある。

7 今後の展開

施設の老朽化対策を計画的に実施し、より安全で快適に施設が利用できるように取り組む。
デジタル化の推進など、市民ニーズの適確な把握に努め、公民館、図書館、博物館における市民サービスのあり方を考えていく必要がある。

8 行政と市民の役割分担

各施設の管理維持及び施設運営は、行政が主体となり実施する。各課の主催事業は、アンケートなどによる市民の声を反映させながら実施する。

9 所管部の総括

今後も適切な施設運営に努め、地域の生涯活動の拠点として、市民ニーズを的確に把握し、新たな取組を検討するなど、利用者数、来館者数等の増加を図れるよう、市民満足度の向上に努める必要がある。

331 スポーツ・レクリエーション活動の推進



担当課 生涯学習・スポーツ課

関連課 —

目指す姿

誰でも いつでも どこでも楽しめる生涯スポーツ社会の実現が図られ、市民が日々スポーツ・レクリエーションに親しんでいる。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P90》



指標 1

週1回以上スポーツを行っている人の割合 (%)

週1回以上スポーツを行っている人の割合

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
—	—	—	60.0

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

- ・東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーを引き継ぎ、市民スポーツ教室として「ポッチャ教室」を開催した。
- ・パリ2024オリンピック出場者・メダル獲得者の懸垂幕を産業文化センターへ掲出した。
- ・日本ライフル射撃協会、埼玉県ライフル射撃協会等の協力を得て、「ビームライフル・ビームピストル スポーツ射撃体験会」を開催した。

【継続】

- ・多くの市民に対しスポーツの機会を提供するため、市民スポーツ大会（旧・市民体育祭）やロードレース大会等のイベントを開催した。
- ・スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員会議を開催し、スポーツ・レクリエーション関係者や専門家の知見を得て、今後の各種スポーツ施策の方向性等について検討を行った。
- ・スポーツ協会、市民総合スポーツ大会実行委員会に対し補助金を交付し、運営を側面から支援するとともに、各団体と連携して事業を展開した。
- ・市民体育振興奨励補助金、青少年スポーツ振興補助金を交付し、市民・団体のスポーツ活動を支援するとともに、市民スポーツの振興に繋げた。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【外部評価委員会】

市民スポーツ大会の参加地区数は90近い自治会町内会数に対し10程度と少なく、市民全体の参加とは乖離しているが、都内などの自治会組織率が低い団体での運動会の開催状況について調査してはどうか。

【スポーツ推進審議会】

- ① 今後、部活動と社会教育の連携などが必要となるが、具体的なアイデアはあるか
- ② 部活動の地域移行には、責任の所在など課題もあるが、大きな方向性を考えなければならない
- ③ ロードレース大会の市内中学生の参加促進を。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

市民スポーツ大会、ロードレース大会など大規模なイベントのほか、ウォークラリー大会、市民スポーツ教室及び小学生スポーツ教室等をおおむね事業計画どおりに実施することができた。

また、スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員会議を例年どおり開催し、各委員からいただいた御意見のうち、施策や事業に取り入れることが可能なものについては、反映できるように努めたことや、各種補助金についても引き続き交付を継続できたことから、概ね順調であると判断する。

【外的要因】

特になし

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

- ・働き方改革や新しい生活様式が広まり、仕事以外の生きがいや交流の場が求められ、スポーツがその役割を期待されている。
- ・平均寿命が延びている中で、単なる寿命の長さではなく、健康で長生きすること（健康寿命）がクローズアップされている。
- ・中学校の部活動の在り方について、指導者となる地域人材や活動場所の確保などが課題である。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費+人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	スポーツ振興事業	18,404	18,440	20,794	継続
2	スポーツ団体等補助事業	12,048	12,135	14,826	継続
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		30,452	30,575	35,620	

総コスト（事業費+人件費）の 経年変化 単位：千円	R4年度 30,452	R5年度 30,575	R6年度(見込み) 35,620
------------------------------	----------------	----------------	---------------------

6 現状と課題の分析

- ・市民がスポーツに親しみきっかけ作りとして、事業内容や周知方法を検討する必要がある。
- ・体育施設の利用率は上昇傾向にある一方、施設数やスペースは限られているため、効率的な利用方法を検討するとともに、公園や広場など、身近な場所で行える運動の紹介なども必要である。

7 今後の展開

- ・第2期朝霞市スポーツ推進計画において目標として掲げている「20歳以上の市民のうち、60%が週1回以上スポーツを行うこと」を目指し、各種施策により、市民がスポーツに触れる機会を提供し、「みる・ささえる・つながる」スポーツから「する」スポーツにつなげていく。
- ・体育施設の指定管理者である文化・スポーツ振興公社との連携を深め、事業の内容を充実させるとともに、市民への啓発を強化する。

8 行政と市民の役割分担

- ・スポーツ協会やスポーツ関係団体、自治会・町内会などとの連携を図るとともに、市民の意見を取り入れながら、効果的に事業を展開していく。

9 所管部の総括

- ・主要事業である市民スポーツ大会、ロードレース大会、ウォークラリー大会のほか、各種教室などをほぼ予定通り開催できた。
- ・各種大会、事業等は、市民の間にスポーツを普及し、市民の親睦と健康増進につながり、スポーツ・レクリエーションの振興を図る上で重要なものである。参加者アンケートにより寄せられた意見・要望を踏まえ、関係団体等と連携を図り、生涯スポーツ施策の推進に努めたい。

341 歴史や伝統の保護・活用



担当課 文化財課
 関連課 —

目指す姿

市民が地域の歴史や文化財について身近に接する機会が増え、次世代に地域文化が歴史や伝統とともに継承され、郷土に対する愛着や文化財保護の理解と認識が深まっている。

まち・ひと・しごと目標 基本目標2 地域の特色を生かし魅力にあふれた選ばれるまちをつくる
 (イ) 市民の地域に対する誇りと愛着の醸成

《後期基本計画冊子 P92》



指標 1

博物館展示回数（回）

博物館のテーマ展、企画展、ギャラリー展等の開催回数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
7	7	7	6

《まち・ひと・しごと P36》



指標 2 【まち・ひと・しごと】

博物館を授業等で使用した市内小中学校数（校）

博物館を授業等で使用した市内小中学校数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
15	15	15	15

1 実 施 内 容

【新規】

- ・テーマ展示「池田幹雄追悼展」の開催。

【継続】

- ・各種媒体を通じての文化財に関する普及啓発。
- ・文化財保護関係団体への補助金交付。
- ・指定文化財の柁塚古墳歴史広場、湧水代官水、広沢の池、二本松の保護、管理。
- ・埋蔵文化財の確認調査（試掘調査）、発掘調査、整理、資料作成、出土品保存処理、調査報告書刊行。
- ・埋蔵文化財センターの維持管理。
- ・重要文化財旧高橋家住宅の維持管理、活用事業8回、年中行事展示13回。
- ・博物館運営事業

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【文化財保護審議委員会議】小学校での埋蔵文化財出土遺物展示状況などについて、定期的な見直しも必要ではないか。
 【博物館協議会】博物館の来館者数は昨年に比べて増加しているが、更なる増加を目指すため企画展や各種講座等のPRを今後も積極的に行っていただきたい。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

- 指標1については、目標を達成できている。
- 指標2については、目標を達成できている。

なお、埋蔵文化財調査件数について、市内開発事業の増加に伴い、目標値2件に対し、令和4年度9件、令和5年度4件、令和6年度4件となっており、目標を上回る状態が続いている。

【外的要因】

博物館法の改正により必要とされる事業についても計画し取り組むとともに、新たな事業展開も模索しながら取り組む。

4 必 要 性

1 2 3 ④ … 社会的なニーズは増加傾向にある

博学連携での必要性をはじめ、文化財などの歴史資源を観光資源として使用しようとする動きが、博物館法の改正を含め、活発化してきており、地域の歴史、文化や文化財に対する意識が高まってきている。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費+人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	旧高橋家住宅管理運営事業	14,627	14,881	15,998	継続
2	指定文化財等保護管理事業	14,952	22,537	14,164	継続
3	文化財保護普及事業	6,822	6,926	7,295	継続
4	埋蔵文化財センター管理事業	8,791	9,089	9,585	継続
5	埋蔵文化財調査保存事業	36,776	38,251	38,272	継続
6	博物館運営事業【再掲】	-	-	-	継続
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		81,968	91,684	85,314	

総コスト（事業費+人件費）の
経年変化 単位：千円

R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
81,968	91,684	85,314

6 現状と課題の分析

博物館の開館から28年経ち、組織改編により文化財保護係と併合して文化財課となり17年が経過する中で、施設や機器の経年劣化等により、文化財の十分な活用が図れない状況にある。これらの文化財を保存し広く活用できるよう、今後も施設改修や機器の更新も含め、適切な保存環境の整備及び調査、整理、保存措置等を行う必要がある。

7 今後の展開

博物館法改正の趣旨に鑑み、文化財の保護・管理とともに、文化財を市の特徴を示すプロモーションとして使用できるよう、引き続き、関係各課との情報共有を行っていく必要がある。

8 行政と市民の役割分担

（市）・旧高橋家住宅で、重要文化財の保護に従事するボランティアを育成する。・歴史や伝統の保護・活用のために活動している市民団体について、補助金を交付し、必要に応じて相談に乗るとともに、関連情報の提供や活動支援を行う。・博物館で、学芸員と研究団体が連携し、調査等を行う。

（市民）・旧高橋家住宅登録ボランティア・文化財保護関係団体・博物館講座室利用団体

9 所管部の総括

指定文化財について、定期的に状況観察を行い、必要に応じた措置を施し維持管理できたこと、コロナ禍が収束し、以前のような事業展開ができたことは大きな成果と考える。今後においても適切な資料保存を行うとともに、地域的特色について学術的な調査研究を進め、後世に文化財・歴史を伝授するよう努めたい。

342 芸術文化の振興

担当課 生涯学習・スポーツ課

関連課 —



目指す姿

市民が芸術文化活動の成果を発表できる場と機会を得るとともに、より身近で優れた芸術文化に親しめる機会が提供されている。

各種団体やグループをネットワーク化し、市民の自主的な活動の充実と活性化をはかり、芸術文化に感心を持つ市民の活動が促進されている。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P92》



指標 1

文化祭入場者数（人）

朝霞市文化祭の入場者数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
8,030	8,766	8,496	14,500

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

展示や発表、大会等の様々な手法で、芸術文化事業を開催することができた。団体や市民の方と協力し、地域固有の文化や芸術・文化に親しむ機会を提供し、芸術文化への意識の高揚を図ることができた。

【継続】

令和6年度は、「芸術文化展」、「市民芸能まつり」、「文化祭」ほか、夏休み親子陶芸教室といった芸術文化事業を全て実施することができた。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【外部評価委員会】

・市の文化祭は、参加者の年齢層が高いため、それだけで市全体の文化の在り方を測ることは難しいと感じている。動画やイラストの投稿など、若い人は若い人なりに文化活動を行っており、文化がないわけではないのに、それが可視化されないと困るので、文化活動の進捗の測り方について、検討してもらいたい。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

文化協会と共催する芸術文化展、文化祭などの展示、発表部門のほか、夏休み親子陶芸教室など、芸術文化事業を実施することができた。文化事業については、秋季のイベントが増え、日程が重なり、参加者が減少した事業もあったが、活動の成果を発表する機会を提供し、芸術文化に親しむ機運を高めた。

【外的要因】

朝霞の森やシンボルロードを会場としたの屋外での各種イベントが多く行われるようになった。

4 必 要 性

1 2 ③ 4 … 社会的なニーズは現状と変わらない

文化や芸術に親しみ取り組んでいくことで、暮らしや生活に豊かさをもたらし、心のゆとりにつながる。芸術文化に触れ合うことで、市民それぞれの交流機会ともなり、コミュニティの活性化にもつながるものと考えられ、その必要性は大きい。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費+人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	芸術文化振興事業	12,640	13,557	9,113	継続
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		12,640	13,557	9,113	

総コスト（事業費+人件費）の
経年変化 単位：千円

R4年度

12,640

R5年度

13,557

R6年度(見込み)

9,113

6 現状と課題の分析

朝霞市文化協会を中心とした、芸術文化事業への関心が低くなってきている。

8 行政と市民の役割分担

市は、文化協会との協働により、文化祭や芸術文化展、市民芸能まつりを開催する。

7 今後の展開

引き続き文化協会と連携し、関連する団体等とも協働するなど、子どもから高齢の方、また、障害のある方など全ての方が芸術文化に親しむことで、豊かなまちづくりにつながるよう、引き続き、芸術文化の振興と地域文化の継承に努めていく。

9 所管部の総括

文化祭事業、夏休み親子陶芸教室などを開催し、多くの市民の参加があった。体験や活動の成果発表の場や、芸術文化に親しむ機会を提供できた。芸術文化に親しむ市民は多く、市の活性化にもつながるものであることから、芸術文化施策をより推進していく。

611 人権教育・啓発活動



担当課 人権庶務課

関連課 教育指導課、生涯学習・スポーツ課

目指す姿

朝霞市人権・同和行政実施計画に則った事業の実践により、市民一人ひとりの人権意識・人権感覚が高まり、憲法で保障された基本的人権を互いに尊重し、認め合う、差別のない明るい社会になっている。

まち・ひと・しごと目標 —

《後期基本計画冊子 P142》



指標 1

人権に関する研修会・講演会参加者数（人）

人権研修会などの年間参加者数

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)
348	323	300	630

指標 2

—

—

R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込み	最終年度目標 (R7年度)

1 実 施 内 容

【新規】

・人権教室について、令和6年度は公設公営保育園9園に加え、公設民営保育園1園で実施し、合計10園で実施した。

【継続】

- ・人権施策庁内連絡会を1回、庁内人権問題研修推進員研修会を2回開催。
- ・職員の人権意識の醸成を図ることを目的に、階層別職員研修において講師を務めた。
- ・平和の大切さを伝えるため、なつやすみ親子ピースチャレンジや平和パネル展、終戦記念日等の黙とう及び半旗の掲揚を実施。
- ・企業人権教育研修会や公民館人権教育講座を開催。
- ・成人式の出席者に対して人権啓発冊子を配布。
- ・広報あさかやホームページを活用して啓発記事を掲載。
- ・小中学生に人権作文への応募の呼びかけを行い、人権作文集「たいよう」を作成。
- ・朝霞市人権教育推進協議会へ補助金を交付し、人権教育・啓発事業の支援を実施。

2 審議会等第三者機関の評価・意見

【外部評価委員会】人権教育・啓発運動のポイントが、性的マイノリティに対する差別の解消に偏り過ぎていないか。子どもの人権など広範囲の市民に関係あるテーマをもっと扱うようにすべきではないか。

3 進 捗 状 況

1 2 ③ 4 … おおむね順調

【判断の根拠】

指標1については、徐々にコロナ禍以前の状況に戻りつつあり、研修会等を開催しているが、目標は下回った。しかし、人権教室を公設公営保育園9園と公設民営保育園1園の合計10園で実施できたことによりめざす姿に近づいている。市民一人一人の人権意識や人権感覚が高まり、差別のない社会を実現するために、今後も複雑、多様化する人権問題に関して、市民や企業に対し講演会や研修会などの学習機会を提供するとともに、啓発・周知の取組を進めていく。

【外的要因】

・令和5年度より多くの講演会や研修会を開催できた。しかしながら、コロナ禍以前と比べ研修会等の開催回数がまだ少ないことや、インターネットなどの各種メディアを活用して自分自身で情報を得ることができることから、目標値を下回ったと考えられる。

4 必 要 性

1 2 3 ④ … 社会的なニーズは増加傾向にある

・すべての人々の人権が尊重され、平和で豊かな社会を実現するためには、市民一人一人の人権尊重意識の醸成を図ることは必要不可欠であり、人権尊重社会を望む市民の願いは変わる事はなく、様々な人権問題が生じている状況からもニーズは高まっていくものと考えられる。

5 施策構成事務事業の優先度評価

※事務事業評価の判定を踏まえて、今後の方向性を判断

番号	施策を構成する事務事業名	総コスト（事業費+人件費 単位：千円）			今後の方向性※
		R4決算	R5決算	R6決算見込み	
1	教育指導支援事業【再掲】	-	-	-	継続
2	特別支援教育事業【再掲】	-	-	-	継続
3	人権教育振興事業【再掲】	-	-	-	継続
4	人権啓発推進事業	6,449	6,527	8,293	継続
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
計（単位：千円）		6,449	6,527	8,293	

総コスト（事業費+人件費）の
経年変化 単位：千円

R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
6,449	6,527	8,293

6 現状と課題の分析

・大規模な災害の発生や感染症の拡大など様々な要因による社会状況等の変化により、人々の意識が大きく変わるような状況があり、インターネットやSNSによる人権侵害事案の増加をはじめとして、人権問題は複雑化、多様化する傾向にある。

・課題としては、市民や職員の人権意識を高めたいため、複雑化、多様化する人権問題に対して、創意工夫した人権教育、啓発活動を継続的に行っていく必要がある。

7 今後の展開

・人権教育については、児童、生徒、教職員の人権意識を向上させるとともに、人権問題の正しい認識と正しい理解を深めるよう教育指導を充実させる。また、講演会や研修会を実施し、市民への学習機会の提供を行い、より効果的な実施手法の中で、多くの市民に人権に関する関心と正しい知識が得られるよう人権教育を推進する。

・人権啓発活動については、人権施策を実施する関係部署との連携を図るとともに、新たな人権問題に対する正しい認識と理解を深めるため、市職員への研修等の充実を図る。また、市民に対しては、より身近な人権課題についての情報提供や啓発活動を工夫し、推進を図る必要がある。

8 行政と市民の役割分担

（市）人権教育については、学校の教育活動を通じて、豊かな人権感覚を育成できる教育活動を推進する。また、人権啓発事業については、市民や職員の人権意識を高めたいための事業等を実施する。

（市民）人権啓発活動において人権擁護委員との協働を行う。

9 所管部の総括

・市民一人一人の人権意識を高め、差別のない社会の実現に近づけるために、既存の事業を着実に実施していく。

・複雑かつ多様化する人権問題については、職員への研修に取り入れるとともに、市民に対して正しい認識と理解を深めるための情報提供や啓発活動の推進を図る。

質問番号	総合計画コード 項目等	委員からの質問	担当課	担当課からの回答	資料請求	請求する資料の内容	委員名
1	221 子どもたちが健やかに育つ環境整備	指標1の「要保護児童対策地域協議会実務者会議」では、どのような話し合いが行われたのか。	健康づくり課	1回目の代表者会議と実務者会議では虐待相談通告状況の説明や児童相談対応における関係機関の役割の確認等を行っています。また、各回の実務者会議では個別のケースについて進行管理を行い、世帯の情報共有や今後の対応方針等を確認しています。3回目の実務者会議では関係機関向けに研修を開催し、虐待対応の資質向上に努めています。	○	会議(6回)の議題もしくはテーマ等、各回の内容がわかるもの	緑川委員
2	221 子どもたちが健やかに育つ環境整備	プログラム提供型の放課後子ども教室は、地域の人材を活用したようだが、どのような事業を行い、また子ども達の反応はどうか。	生涯学習・スポーツ課	令和6年度のプログラム提供型の放課後子ども教室では、絵本作り、切り絵教室及び工作教室等を実施しました。参加者向けのアンケートでは、約97パーセントの児童から満足(楽しかった)と評価をいただきました。	○	各回の報告書(講師・参加者の人数)	緑川委員
3	221 子どもたちが健やかに育つ環境整備	居場所提供型放課後子ども教室の委託先はどこか。	生涯学習・スポーツ課	居場所提供型の放課後子ども教室運営業務は、特定非営利活動法人三楽に委託しました。	-		緑川委員
4	221 子どもたちが健やかに育つ環境整備	前職では朝霞市に事業所がある会社に勤めていました。入社時には朝霞市に借家で会社に近いところに住むが、結婚を機に子育てがしやすい環境を求めて東京や朝霞以外の自治体に引っ越しをする人というのが周りに多くいた印象です。実際にこういった声や傾向があるのかを市として認識したことがありますか？ またあるとすればどういったところが他自治体と比較して弱いと分析をしたことがあればその結果を教えてください。	こども未来課	就学前児童数は、令和2年以降緩やかに減少しており、令和6年には7,329人となっています。一方、小学校児童数は令和6年では7,712人となっており、令和2年度と比べると増加の傾向にあります。子育て環境の整備の課題の一つとして、就学前児童の母親のフルタイム就労割合が増加しており、共稼ぎ、子育て支援のために、引き続き教育・保育事業の充実などが必要と考えます。 また、核家族化が進む中で、子育てに関する支援が不足している現状がある中、妊娠前から幼児期・学童期・青年期に至るまでの切れ目のない支援体制の構築が必要と考えます。 令和7年度に設置したこども家庭センターのほか、ワンストップ拠点を設置し、保護者一人一人に寄り添った伴走型の相談支援などを充実していく必要があります。	-		山崎委員

質問番号	総合計画コード 項目等	委員からの質問	担当課	担当課からの回答	資料請求	請求する資料の内容	委員名
5	222 子育て家庭を支えるための環境整備	妊娠及び出産における産前・産後ケアや助成金等の支援の内容を具体的に教えてください。	健康づくり課	妊婦のための支援給付として、妊娠中に5万円、出産後に5万円の給付があります。また、第3子以降のお子さんが生まれたご家庭には30万円の給付(※生まれたお子さんを含め18歳未満のお子さんを3人以上養育していることが条件)があります。産後ケアとしては、訪問型産後ケアを実施しており、助産師が訪問し、心身ケアやアドバイス等を行っています。妊娠届出書を提出して頂いた際に、給付金やサービス等が載った「朝霞市の母子関係事業のご案内(子育てガイド)」をお渡しして、詳細を説明しています。	-		中屋委員
6	222 子育て家庭を支えるための環境整備	子育てに関する行政手続きの電子化はどこまで進みましたか。	デジタル推進課	「朝霞市行政情報デジタル化推進方針」においてオンライン化を目指すこととしている「地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき」手続について、子育て関係では15手続のうち5手続のオンライン化が実現しています。 (子育て関係15手続) オンライン化済み:①②④⑤⑭ 手続不要:③ ① 児童手当等の受給資格及び児童手当の額についての認定請求 ② 児童手当等の額の改定の請求及び届出 ③ 氏名変更/住所変更等の届出 ④ 受給事由消滅の届出 ⑤ 未支払の児童手当等の請求 ⑥ 児童手当等に係る寄附の申出 ⑦ 児童手当に係る寄附変更等の申出 ⑧ 受給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の申出 ⑨ 受給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の変更等の申出 ⑩ 児童手当等の現況届 ⑪ 支給認定の申請 ⑫ 保育施設等の利用申込 ⑬ 保育施設等の現況届 ⑭ 児童扶養手当の現況届の事前送信 ⑮ 妊娠の届出	-		中屋委員
7	222 子育て家庭を支えるための環境整備	現状の課題と分析の中で、「こどもの貧困対策、、、など今後対策を検討していく必要がある施策については、、、」とあるが、「貧困なこども」についてどのような定義をされていて、朝霞市では貧困対策が必要なこどもがどのくらいいるのかを教えてください。また本質的な課題についても教えてください。	こども未来課	令和3(2021)年の国民基礎調査によりますと、子どもの貧困率は11.5%であり、およそ9人に1人の割合の子どもが貧困状態に陥っていることがわかりました。また、ひとり親家庭の貧困率は44.5%となっており、ひとり親家庭の半数近くが貧困の状態にあると言えます。 本市においても第2期朝霞市子ども・子育て支援計画の策定に際し、子どもの生活に関するアンケートを行い、小学生・中学生がいる子育て家庭のうち、5~6%程度の家庭が経済的困難を抱えているとの調査結果が出ました。こうした家庭は相談先を知らないことや支援を求める声をあげにくいこと、家庭の生活状況が子どもの生活や学習にも影響を与えている状況が見受けられることがわかりました。障害のある子どもと保護者への支援、ひとり親家庭等の支援、経済的困難を抱える家庭と保護者の支援、外国につながる子どもと保護者への支援などと併せ、本市ではこども食堂やフードパントリー等の活動が活発に行われていることから、市と市民、団体が連携して貧困の連鎖を解消していくことが求められます。	○	朝霞市で貧困に対する支援が必要なこどもの数の近年10年の推移	山崎委員

質問番号	総合計画コード 項目等	委員からの質問	担当課	担当課からの回答	資料請求	請求する資料の内容	委員名
8	223 幼児期等の教育・保育 の充実	待機児童や児童クラブ入所保留者が多い理由は何ですか。小学校での放課後子ども教室をもっと増やすことはできませんか。近隣の自治体を参考とした取組はなんですか。	保育課 生涯学習・スポーツ課	【保育課】 (保育園・放課後児童クラブ) 大規模開発などに伴う子育て世帯の転入や働き方の多様化などにより、保育所や放課後児童クラブでの保育を必要とする世帯が増えているものと考えています。 【生涯学習・スポーツ課】 (放課後子ども教室) 今後も子どもの居場所づくりとして、居場所提供型の放課後子ども教室の拡充について検討していきます。近隣の自治体の取り組みのうち、児童の入退室やその状況を保護者が把握できる入退室管理システムを導入しました。	-		中屋委員
9	223 幼児期等の教育・保育 の充実	指標2の入所保留者数の大幅な増加について、市として「今の取り組みの継続・拡大」ではなく、新しい事業として取り組む考え・体制はあるのか。	保育課	放課後児童クラブにおいては、大規模開発などで子育て世帯の転入等もあり、令和7年4月1日現在で、第二小学校や第六小学校などでは待機児童が多い一方で、第十小学校では待機児童がいないなど、小学校ごとに需要にばらつきがあります。今後は、児童の放課後の居場所づくりという視点で関係している庁内関係課と引き続き、放課後子ども教室の実施などの対策を行います。	-		緑川委員
10	223 幼児期等の教育・保育 の充実	1支援単位10人は具体的に「どの放課後クラブで支援員を何人に増員したか」や「何人定員を増やしたか」など具体的に教えていただけませんか。また公立の学童及び民間の学童併せてもどこも満員で受け入れ先がないという状況なのではないでしょうか。	保育課	令和6年度に実施しました受入れ定員の拡大は、「キッズクラブさいか本町あおぞら・つばさ」に1支援単位、定員10人の「はばたき」を追加したものです。令和7年4月1日現在で、公設の「溝沼放課後児童クラブ」をはじめ、民設においても定員に達していないクラブがありました。	-		吉田委員
11	224 青少年の健全育成の 充実	青少年を守り育成する家について、管理人室が備わっている集合住宅＝分譲マンション等、積極的に働きかけてはどうか。	こども未来課	朝霞市青少年市民会議では、子どもたちのもしもの時の駆け込み場所である「青少年を守り育成する家」として、住宅や店舗、事業所(市内公共施設を含む)など、約500件の方々にご協力いただいています。現在、ホームページやチラシ等でPRを行っておりますが、今後新たなPR方法について検討していきたいと考えております。	-		緑川委員
12	224 青少年の健全育成の 充実	成人の日記念式典の市民会館に入れる市民はどのように決めているのでしょうか。(先着順?希望者抽選?) また、パブリックビューイング会場はどこに設置されていて、複数箇所にあがる場合は出身地域等である程度指定されているのでしょうか。	生涯学習・スポーツ課	市民会館には、開催年度に20歳になる市民を対象に案内はがきを送付しています。はがきを入場券として先着順で入場していただき、ホール内に入りきれない方については、市民会館の新館1階のリハーサル室(1)(2)に設置した、パブリックビューイング会場へ案内しています。 式典会場は市民会館のみで、出身地域等で区切るなどの対応はしていません。	-		吉田委員
13	252 保健サービスの充実	2010年頃から「自殺」を「自死」と言い替え、表記する自治体が多々ある。 一方で「自殺」と「自死」の表記を明確に分けている自治体もある。 朝霞市としては、今後の表記についてどう考えているのか。また、その根拠についてもお聞きしたい。	健康づくり課	行為を表現するときは「自殺」を使う、「自殺した」ではなく「自殺で亡くなった」と表現する、遺族や遺児に関する表現は「自死」を使う、との「自殺・自死」の表現に関するガイドラインを全国自死遺族総合支援センターが作成しています。 厚生労働省などからは「自殺」と「自死」の表記について特に示されておりませんので、全国自死遺族総合支援センターのガイドラインを表記の参考にしたいと考えています。	-		緑川委員

質問番号	総合計画コード 項目等	委員からの質問	担当課	担当課からの回答	資料請求	請求する資料の内容	委員名
14	253 地域医療体制の充実	指標1の普及率はどのように算出しているのでしょうか。「かかりつけ医」と言われ始めてかなり経ち、啓発活動もされていると思うのですが、普及率が何年も停滞している一因としてワードの強さ故に定義の理解が進み辛いのではないかと考えます。算出方法と合わせて、停滞の原因として考えられることがあれば教えてください。	健康づくり課	4か月児健康診査の保護者に対してアンケートを依頼し、かかりつけ医(小児科)の有無を回答いただき普及率を算出しています。 4人に3人以上はかかりつけ医があるとの結果が得られていることから、乳幼児に関しては特に停滞しているとは感じていませんが、全体の普及率については把握していません。 かかりつけ医はご自身で選択できる、自分が信頼できると思った医師を「かかりつけ医」と呼んで構わない、一人に決める必要はない、などが十分に理解されていないことは考えられます。	○	乳幼児健診でかかりつけ医に関する質問が書いてあるアンケートやその集計結果など	吉田委員
15	312 確かな学力と自立する力の育成	「日本語を母語としない帰国児童生徒に対する日本語指導支援員の必要性」について言及がありますが、決算をみると額が減っているように見えます。どのような状態なのでしょう。 ※【日本語指導充実事業】R4 3,544千円→R6 2,910円	教育指導課	R4年度は、日本語を母語としない児童生徒を取り出しで指導ができる日本語指導教員が本市に2名配置されました。併せて、授業の中で支援を行う日本語指導支援員を活用していました。 R5・6年度は、日本語指導教員が1名増員され、本市に3名配置となりました。そのため、日本語支援員の活用回数が減り、決算額も減っています。 また、R7年度については、新たに日本語指導教員が4名配置となっています。日本語の指導を必要としている児童生徒は増加傾向にあり、今後も適切に予算を措置していきます。	-		武田委員
16	313 質の高い教育を支える教育環境の整備充実	国からの指針により学校での部活動を地域で展開することが求められており、朝霞市も移行の準備期間と理解しています。その準備のひとつが指導補助員の募集と思いますが、応募状況を教えてください。	教育指導課	R6年度中学校の部活動では、地域人材活用支援員として、52名が指導補助にあっています。また、令和7年2月より、部活動指導補助員の公募を行っており、令和7年3月時点で新たに10名の応募をいただき、各学校へ紹介を行ったところです。公募は随時行っています。	-		山崎委員
17	313 質の高い教育を支える教育環境の整備充実	今後部活動を地域で展開することに対する指針と計画及び課題と今考える解決方法を教えてください。	教育指導課	部活動の地域展開については、令和4年度より、朝霞市部活動の在り方検討会議を中心に検討を進めています。今後部活動を地域で展開していくための課題を整理し、解決策を探りながら、今年度中に今後の方向性を定めることとしています。しかしながら、指導者や受け皿の確保等、課題が多岐にわたっているため、教育委員会のみならず、庁内各課と連携して検討を進めていくことも必要であると考えています。また、市内中学校においては、持続可能な部活動としていくために、今後は部活動数の精選を行うことを確認しています。 今後は検討会議の進捗を広報することで、朝霞市における部活動の地域移行について、広く周知していく予定です。	-		山崎委員
18	313 質の高い教育を支える教育環境の整備充実	令和7年度一般会計予算として教育費に対して45億5839万円が歳出の8.9%として計上されており、朝霞市の歳出としては民生費、総務費に次いで3番目に大きいものになっています。この水準は他の自治体と比較してどのような位置づけにあるのか教えてください。	財政課	令和7年度一般会計当初予算の歳出に占める教育費の割合は、埼玉県内市町村全体では13.1%で、民生費に次いで2番目に大きいものになっています。また、近隣3市では、志木市が16.4%で、民生費に次いで2番目、和光市が10.2%で、民生費、総務費に次いで3番目、新座市が16.0%で、民生費に次いで2番目となっています。割合については、学校の増築・改修等により変動がありますが、本市は他の自治体と同様の位置づけにあると考えます。	-		山崎委員

質問番号	総合計画コード 項目等	委員からの質問	担当課	担当課からの回答	資料請求	請求する資料の内容	委員名
19	314 学校を核とした家庭・ 地域との連携・協働の 推進	・指標1の「学校応援団」について、学校応援団の存在を「知らない」との声を子ども・保護者から多々聞きます。どのような活動を行っているのか教えてください。 ・現状、学校応援団はボランティアとの位置付けと読み取れますが、市としてどのように関わっているのですか。	教育指導課	学校応援団は、市内小中学校の教育活動において幅広く活動を行っています。2024年度は小学校で923名の方々に参加していただきました。もっとも多い活動が、学習活動の支援です。内容としては本の読み聞かせ、ミシン等の操作支援、体験活動の支援、校外学習の付き添い、ゲストティーチャーなどがあります。その他にも清掃活動や樹木の剪定等の校内環境整備などを行っています。学校応援団の組織及び運営は学校裁量で行われるため、市または教育委員会と各学校の学校応援団との直接のかかわりは現状ありませんが、埼玉県为学校応援団に係る活動実態調査もあることから、教育委員会として各学校の状況を把握しています。	○	2024年度の各小学校の参加人数及び内容がわかるもの	緑川委員
20	322 学びを支える環境の 充実	図書館司書・博物館学芸員等、専門性が求められる職員のスキルUPは何を行っているのか。	図書館 文化財課	【図書館】 図書館については、県等が主催する各種研修会への参加や休館日等を利用した内部研修の実施などにより、専門性を高める取り組みを行っています。また、新たに配属された職員については、県立図書館で実施する図書館新任職員研修へ積極的に参加しています。 【文化財課】 文化財課所属の学芸員については、埼玉県博物館連絡協議会や埼玉県文化財保護協会などが実施する専門研修・資料取扱い講習等に参加することでスキルアップを図っています。	-		緑川委員
21	341 歴史や伝統の保護・活 用	「3 進捗状況」について、指標を達成し、埋蔵文化財調査件数においても「目標を上回る」との自己評価をしているにも関わらず、進捗状況を「3 おおむね順調」とした理由は何か。なぜ「4 極めて順調」としないのか。	文化財課	目標としている埋蔵文化財調査件数については、目標を上回る実績となっておりますが、その成果となる調査報告書については、順次整理を終えたものから作成していくため、調査の終了までに時間を要することとなります。このため、進捗状況につきましては「4極めて順調」ではなく、「3おおむね順調」としています。	-		緑川委員

委員の関心・興味があるテーマやキーワード ※ 会議の中で話題として取り上げる可能性があります。

テーマ・キーワード	委員名
保育園、放課後児童クラブの拡充	中屋委員、緑川委員、吉田委員
保育士や教員へのケア	緑川委員
小中学校校舎の老朽化	中屋委員
学校給食の充実	吉田委員、山崎委員
妊娠・出産から子育てと安心できる環境	中屋委員
家庭・学校以外の子どもの関わり方	緑川委員
こどもたちをとりまく教育環境	山崎委員
中学年(3,4年生)の待機児童	吉田委員
物価高による給食へのしわ寄せ	吉田委員

令和6年度 第1回朝霞市要保護児童対策地域協議会 実務者会議 次第

日時 令和6年5月29日（水）

午前9時～正午

会場 朝霞市役所 別館5階 502会議室

1 開会

2 こども未来課長あいさつ

3 議題

1) 座長・副座長の選出

2) 令和5年度児童虐待相談・通告状況について

3) 令和5年度朝霞市要保護児童対策地域協議会開催状況及び
令和6年度朝霞市要保護児童対策地域協議会計画について

4) 児童相談対応における関係機関の役割について

5) 定期的な情報提供について

6) ケース進行管理について

7) その他

①朝霞市児童虐待対応マニュアルについて

4 閉会

令和6年度 第2回朝霞市要保護児童対策地域協議会 実務者会議 次第

日時 令和6年7月26日（金）
午前9時30分～12時00分
会場 大会議室（手前）

1 開 会

2 議 題

1) ケース進行管理について

2) その他

・代表者・実務者合同研修会日程について

3 閉 会

令和6年度 第3回朝霞市要保護児童対策地域協議会 実務者会議 次第

日時 令和6年9月25日(水)

午前1時～午後4時

会場 コミュニティセンター 集会室1・2

1 開 会

2 研修会

テーマ：「連携」の必要性 ～気づく、つなぐ、支えるために～

講 師：ビヨンドザボーダー株式会社 代表取締役 安藤 亘 氏

3 議 題

1) ケース進行管理について

2) その他

4 閉 会

令和6年度 第4回朝霞市要保護児童対策地域協議会 実務者会議 次第

日時 令和6年11月22日（金）

午前9時30分～12時

会場 朝霞市役所 大会議室（手前）

1 開 会

2 議 題

1) ケース進行管理について

2) その他

3 閉 会

令和6年度 朝霞市要保護児童対策地域協議会 第5回実務者会議 次第

日時 令和7年1月24日（金）

午前9時30分～正午

会場 朝霞市役所 別館5階 大会議室（手前）

1 開 会

2 議 題

1) ケース進行管理について

2) その他

3 閉 会

令和6年度 朝霞市要保護児童対策地域協議会 第6回実務者会議 次第

日時 令和7年3月19日(水)

午前9時30分～正午

会場 朝霞市役所 別館5階 大会議室(奥)

1 開 会

2 議 題

1) ケース進行管理について

2) その他

3 閉 会

令和6年度朝霞市要保護児童対策地域協議会 代表者会議 次第

日時 令和6年5月10日（金）
午前9時30分～11時00分
会場 朝霞市役所別館5階 大会議室手前

1 開会

2 あいさつ

3 議題

1) 座長・副座長の選出

2) 令和5年度児童虐待相談・通告状況について

①埼玉県の場合

②朝霞市の状況及び課題

3) 令和5年度朝霞市要保護児童対策地域協議会開催状況及び 令和6年度朝霞市要保護児童対策地域協議会計画について

4) 児童虐待対応における関係機関の役割

5) その他

①ケース進行管理について

②定期的情報提供について

4 閉会

令和6年度放課後子ども教室事業について

1 事業名 令和6年度放課後子ども教室事業（秋・冬）

2 日時 令和6年10月5日から令和7年2月15日まで（土曜の午前中）

3 会場及び参加者数等

会場	内容	使用教室	講師	応募人数	参加人数	延参加人数	実施回数
朝霞第一小学校	わくわくスポーツパーク (4～6年生)	多目的室	株式会社ルネサンス 亀川 綾乃 他	7	7	57	12
	わくわくスポーツパーク (1～3年生)	多目的室	株式会社ルネサンス 亀川 綾乃 他	20	20	132	12
朝霞第三小学校	劇あそび	会議室	NPO 法人朝霞おやこ劇場 岩崎 裕子 他	3	3	32	12
朝霞第四小学校	科学あそび大好き！ (科学の実験)	ランチルーム	科学読物研究会 岩田 真弓 他	37	20	198	12
朝霞第五小学校	バランスボール	会議室	ファルモル 小澤 美智子 他	38	20	157	12
朝霞第七小学校	墨と筆で遊ぼう	図工室	筆家団樂 葵 大輔 他	20	20	157	12
朝霞第十小学校	おもしろ工作教室 A (1～3年生)	生活科室	朝霞ぐらんぱの会 廣江 芳裕 他	31	20	87	6
	おもしろ工作教室 B (4～6年生)	生活科室	朝霞ぐらんぱの会 廣江 芳裕 他	23	17	85	6
合計				169	127	905	84

4 アンケート結果

事業の実施後に実施したアンケートでは、「楽しかった」が90.3%、日程、回数、時間などの設定は「ちょうどいい」が79.2%、「来年度も参加したい」が97.3%と参加した児童・保護者からは好評をいただくことができた。

令和6年度夏季休暇期間放課後子ども教室事業について

1 事業名 令和6年度夏季休暇期間放課後子ども教室事業

2 日時 令和6年7月29日から令和6年8月23日まで（夏休みの午前中）

3 会場及び参加者数等 ()：会場以外の小学校人数

会場	内容	講師	応募人数	参加人数	延参加人数	実施回数
朝霞第一小学校	バランスボール&キッズヨガ	ファルモル 小澤 美智子 他	23 (7)	18 (9)	70	5
朝霞第三小学校	チョコチョコ切り絵教室	切り絵連盟 加藤 三郎 他	21 (19)	19 (8)	87	5
朝霞第四小学校	科学あそび大好き！ (科学の実験)	科学読物研究会 岩田 真弓 他	55 (34)	20 (11)	79	5
朝霞第五小学校	オリジナル絵本を作ろう	岩田 真弓 他	46 (10)	18 (5)	78	5
朝霞第七小学校	筆と墨で遊ぼう！	筆家団欒 葵 大輔 他	26 (3)	19 (3)	81	5
朝霞第十小学校	おもしろ工作教室	朝霞ぐらんぱの会 川口 繁 他	59 (31)	19 (9)	85	5
合 計			230 (104)	113 (45)	480	30

4 アンケート結果

事業の実施後に実施したアンケートでは、「満足（楽しかった）」が82.6%、「やや満足（やや楽しかった）」が15.1%と、楽しかったと感じた児童が97.7%であった。また、日程、回数、時間などの設定は「ちょうどいい」が79.5%、「来年度も参加したい」が89.9%であった。

(2) 子どもの生活に関するアンケート調査

地域における子どもの貧困の実態を把握し、必要な支援を第2期朝霞市子ども・子育て支援事業計画に位置付けることを目的として調査を実施しました。

調査の概要

◆調査の種類・調査方法

調査の種類	調査対象	対象数	調査方法
小学5年生	市内公立小学校の5年生とその保護者 (10小学校、2クラスずつ)	各949人	学校配布-学校回収
中学2年生	市内公立中学校の2年生とその保護者 (5中学校、3クラスずつ)	各600人	
公的扶助 受給世帯※	公的扶助を受給する世帯の保護者	821人	郵送配布-郵送回収

※公的扶助受給世帯には、児童扶養手当やひとり親家庭等医療の受給資格がある世帯で、世帯員の所得状況により、児童扶養手当を受給していない世帯も含まれています。

◆調査期間

学校配布-回収 (小・中学校) 平成31(2019)年1月10日(木)～平成31(2019)年1月28日(月)
 郵送配布-回収 (公的扶助受給世帯) 平成30(2018)年12月28日(金)～平成31(2019)年1月28日(月)

◆回収状況

調査の種類		配布数	有効回収数	有効回収率
小学5年生	児童	949人	868人	91.5%
	保護者	949人	867人	91.4%
中学2年生	生徒	600人	475人	79.2%
	保護者	600人	498人	83.0%
公的扶助受給世帯		821人	255人	31.1%

◆生活困難度を軸として分析

この調査では以下の2つの要素を用いて生活困難度層の定義を行い、家庭の生活困難の度合いが基本的な生活における課題や子どもの育ちに影響する度合いについて分析を行いました。分析には下記の「生活困難層」「中間層」「非該当層」の分類を用いています。

要素1 世帯員人数別に区分を設定した世帯の可処分所得水準により分類Ⅰ～Ⅵに振り分け。

要素2 さらに、分類Ⅲについて、「過去1年間に買えなかった・支払えなかった経験」に関する7項目(①食料、②衣類、③電話料金、④電気料金、⑤ガス料金、⑥水道料金、⑦家賃)のうち2項目以上該当するものを生活困難層に振り分け。

※①食料、②衣類は「よくあった」「ときどきあった」のいずれかの場合

世帯員 人数	生活困難層		中間層		非該当層		(参考) 国の貧困線 基準	
	分類Ⅰ	分類Ⅱ	分類Ⅲ		分類Ⅳ	分類Ⅴ		分類Ⅵ
			要素2が 2つ以上	要素2が 1つ以下				
1人	60万円未満	120万円未満	180万円未満	240万円未満	300万円未満	300万円以上	122万円	
2人	85万円未満	175万円未満	260万円未満	345万円未満	430万円未満	430万円以上	173万円	
3人	105万円未満	210万円未満	315万円未満	420万円未満	525万円未満	525万円以上	211万円	
4人	120万円未満	245万円未満	365万円未満	485万円未満	605万円未満	605万円以上	244万円	
5人	135万円未満	275万円未満	410万円未満	545万円未満	680万円未満	680万円以上	273万円	
6人	150万円未満	300万円未満	450万円未満	600万円未満	750万円未満	750万円以上	299万円	
7人	160万円未満	325万円未満	485万円未満	645万円未満	805万円未満	805万円以上	323万円	
8人	175万円未満	345万円未満	520万円未満	695万円未満	870万円未満	870万円以上	345万円	
9人	185万円未満	365万円未満	550万円未満	735万円未満	920万円未満	920万円以上	366万円	

この分析は、埼玉県が実施した「子どもの生活に関する調査」（平成 30（2018）年度）の分析手法に準じて行っており、調査結果について埼玉県と比較した朝霞市の傾向についても掲載しています。

①子育て家庭の経済的状况

調査結果

●可処分所得水準（世帯の人数別）と食料・衣類を購入できなかった経験や公共料金等を支払えなかった経験により家庭の経済的状况を3つに分類すると、経済的困難を抱えると想定される「生活困難層」の家庭は小学5年生で6.0%、中学2年生で5.0%程度と想定されます。埼玉県の調査では、「生活困難層」は小学5年生で9.4%、中学2年生で10.0%となっており、朝霞市では埼玉県と比べて「生活困難層」の割合は低くなっていますが、経済的困難を抱えている家庭が一定数存在することが明らかになりました。

生活困難度の分布

	調査数	生活困難層	中間層	非該当層
小学5年生	n=856	48 (6.0%)	140 (16.0%)	668 (78.0%)
中学2年生	n=401	19 (5.0%)	67 (17.0%)	315 (79.0%)

調査結果

●保護者の就労状況として母親については、全体では「パート・アルバイト」が小学5年生で46.0%、中学2年生で53.3%と特に多くなっています。「生活困難層」では「パート・アルバイト」が全体よりも10ポイント以上高くなっています。父親については、全体では「正社員・正規職員」が小学5年生で82.4%、中学2年生で83.7%ですが、「生活困難層」では「自営業・家業」が高くなり、「正社員・正規職員」は30%を下回っています。また、小学5年生では「働いていない」が16.0%となっています。

保護者の就労状況

【母親】

【父親】

	調査数	上段(人) 下段(%)								上段(人) 下段(%)									
		正社員・ 正規職員	アル バ イ ト	非 契 約 正 規 職 員	か ら の 材 派 遣 会 社 員	自 営 業 ・ 家 業	そ の 他 の 職 業	働 い て い な い	無 回 答	正社員・ 正規職員	アル バ イ ト	非 契 約 正 規 職 員	か ら の 材 派 遣 会 社 員	自 営 業 ・ 家 業	そ の 他 の 職 業	働 い て い な い	無 回 答		
小学5年生	全体	815	151	375	34	19	33	18	177	8	714	638	6	7	-	100	9	5	9
	生活困難層	42	3	25	2	1	2	1	7	1	25	7	3	1	-	8	1	4	1
	中間層	132	22	63	2	2	8	2	30	3	117	87	2	1	-	25	1	-	1
	非該当層	641	126	287	30	16	23	15	140	4	632	544	1	5	-	67	7	1	7
	100.0	19.7	44.8	4.7	2.5	3.6	2.3	21.8	0.6	100.0	86.1	0.2	0.8	-	10.6	1.1	0.2	1.1	
中学2年生	全体	383	73	204	17	9	17	5	58	-	362	303	1	7	-	43	3	1	4
	生活困難層	18	2	12	-	-	2	-	2	-	7	2	-	-	-	5	-	-	-
	中間層	64	8	37	3	-	2	1	13	-	60	47	-	3	-	8	1	-	1
	非該当層	301	63	155	14	9	13	4	43	-	295	254	1	4	-	30	2	1	3
	100.0	20.9	51.5	4.7	3.0	4.3	1.3	14.3	-	100.0	86.1	0.3	1.4	-	10.2	0.7	0.3	1.0	

調査結果

- お金が足りなくて食料や衣料を買えなかった経験が「よくあった」家庭は全体では小学5年生、中学2年生ともに2%程度ですが、「生活困難層」の小学5年生で27.1%、中学2年生で36.8%となっています。
- 過去1年間に経済的な理由のために公共料金等を支払えなかった経験が「あった」家庭は、『電話料金』で全体では小学5年生、中学2年生ともに2%程度ですが、「生活困難層」では小学5年生、中学2年生ともに20%を超えています。『電気料金』『ガス料金』『税金・国民健康保険税』でも同様の結果となっています。

お金が足りなくて、家族が必要とする食料または衣類が買えない経験の有無

		調査数	上段(人) 下段(%)			
			よくあった	ときどきあった	なかった	無回答
小学5年生	全体	856 100.0	18 2.1	63 7.4	763 89.1	12 1.4
	生活困難層	48 100.0	13 27.1	14 29.2	21 43.8	-
	中間層	140 100.0	2 1.4	20 14.3	117 83.6	1 0.7
	非該当層	668 100.0	3 0.4	29 4.3	625 93.6	11 1.6
中学2年生	全体	401 100.0	11 2.7	40 10.0	341 85.0	9 2.2
	生活困難層	19 100.0	7 36.8	2 10.5	10 52.6	-
	中間層	67 100.0	2 3.0	11 16.4	53 79.1	1 1.5
	非該当層	315 100.0	2 0.6	27 8.6	278 88.3	8 2.5

過去1年間に経済的な理由のために『電話料金』を支払えなかった経験

		調査数	上段(人) 下段(%)			
			あった	なかった	(払う必要がない) (該当しない)	無回答
小学5年生	全体	856 100.0	22 2.6	812 94.9	11 1.3	11 1.3
	生活困難層	48 100.0	10 20.8	36 75.0	1 2.1	1 2.1
	中間層	140 100.0	3 2.1	133 95.0	3 2.1	1 0.7
	非該当層	668 100.0	9 1.3	643 96.3	7 1.0	9 1.3
中学2年生	全体	401 100.0	11 2.7	375 93.5	5 1.2	10 2.5
	生活困難層	19 100.0	5 26.3	13 68.4	1 5.3	-
	中間層	67 100.0	2 3.0	65 97.0	-	-
	非該当層	315 100.0	4 1.3	297 94.3	4 1.3	10 3.2

調査結果

- 将来の教育費の準備状況は、「十分準備できている」は全体では小学5年生、中学2ともに10%程度、「準備を始めている」は小学5年生65.8%、中学2年生61.8%となっています。「まったく準備ができていない」は「生活困難層」で小学5年生66.7%、中学2年生47.4%と高くなっています。

将来の教育費の準備状況

		調査数	上段(人) 下段(%)			
			十分準備できている	準備を始めている	てまいたくなく準備ができ	無回答
小学5年生	全体	856 100.0	92 10.7	563 65.8	181 21.1	20 2.3
	生活困難層	48 100.0	2 4.2	13 27.1	32 66.7	1 2.1
	中間層	140 100.0	2 1.4	81 57.9	55 39.3	2 1.4
	非該当層	668 100.0	88 13.2	469 70.2	94 14.1	17 2.5
中学2年生	全体	401 100.0	53 13.2	248 61.8	84 20.9	16 4.0
	生活困難層	19 100.0	1 5.3	9 47.4	9 47.4	-
	中間層	67 100.0	1 1.5	37 55.2	29 43.3	-
	非該当層	315 100.0	51 16.2	202 64.1	46 14.6	16 5.1

②生活・子育ての状況

調査結果

●家庭での子どもと保護者の関わりの状況は、<お子さんができたことや頑張ったことをほめて、一緒に喜ぶ>が「毎日ある」の割合は、小学5年生、中学2年生ともに20%程度となっています。小学5年生の生活困難層では「毎日ある」の割合は全体と同程度であり、中間層でやや低くなっています。

●<お子さんの学校での出来事について、じっくり耳を傾けて応じる>が「毎日ある」の割合は、小学5年生で44.9%、中学2年生で34.4%となっています。小学5年生の生活困難層では「毎日ある」の割合は全体より9.5ポイント低く、中間層でも7.8ポイント低くなっています。生活困難層では「週に1日～2日」が41.7%と高くなっています。

家庭での子どもと保護者の関わりの状況

お子さんができたことや頑張ったことをほめて、一緒に喜ぶ

お子さんの学校での出来事について、じっくり耳を傾けて応じる

		調査数	毎日ある	週に3日～4日	週に1日～2日	まったくくない	上段(人) 下段(%)	
							無回答	
小学5年生	全体	856 100.0	205 23.9	363 42.4	265 31.0	14 1.6	9 1.1	
	生活困難層	48 100.0	11 22.9	24 50.0	11 22.9	2 4.2	-	
	中間層	140 100.0	24 17.1	65 46.4	44 31.4	7 5.0	-	
	非該当層	668 100.0	170 25.4	274 41.0	210 31.4	5 0.7	9 1.3	
中学2年生	全体	401 100.0	80 20.0	123 30.7	179 44.6	13 3.2	6 1.5	
	生活困難層	19 100.0	5 26.3	3 15.8	8 42.1	2 10.5	1 5.3	
	中間層	67 100.0	14 20.9	22 32.8	27 40.3	4 6.0	-	
	非該当層	315 100.0	61 19.4	98 31.1	144 45.7	7 2.2	5 1.6	

		調査数	毎日ある	週に3日～4日	週に1日～2日	まったくくない	上段(人) 下段(%)	
							無回答	
小学5年生	全体	856 100.0	384 44.9	302 35.3	153 17.9	9 1.1	8 0.9	
	生活困難層	48 100.0	17 35.4	10 20.8	20 41.7	1 2.1	-	
	中間層	140 100.0	52 37.1	58 41.4	26 18.6	3 2.1	1 0.7	
	非該当層	668 100.0	315 47.2	234 35.0	107 16.0	5 0.7	7 1.0	
中学2年生	全体	401 100.0	138 34.4	125 31.2	121 30.2	12 3.0	5 1.2	
	生活困難層	19 100.0	5 26.3	6 31.6	7 36.8	1 5.3	-	
	中間層	67 100.0	21 31.3	19 28.4	24 35.8	3 4.5	-	
	非該当層	315 100.0	112 35.6	100 31.7	90 28.6	8 2.5	5 1.6	

調査結果

●子育てについての悩みがある割合（何らかの悩みの項目に○をつけた人の割合）は、全体では小学5年生、中学2年生ともに55%程度ですが、「生活困難層」では小学5年生、中学2年生ともに60%を超えており、「生活困難層」で悩みを抱える割合が高くなっています。悩みの内容は、「生活困難層」でも「子どもとの関わり方」が高くなっています。

子育てについての悩み

上段(人)
下段(%)

	調査数	子どもと過ごす時間が持てない	子どもとの関わり方	子どもの病気や障害	子どもの反抗や暴言・暴力	子どもの不登校やひきこもり	子どもの友達関係やいじめ	他の保護者との関係	学校の先生との関係	家族間での教育方針の違い	その他	特に悩みはない	無回答	
													無回答	
小学5年生	全体	856	107	224	68	105	17	90	58	21	50	70	360	20
	生活困難層	48	9	13	6	6	-	3	5	1	2	4	18	1
	中間層	140	25	41	13	27	4	13	10	2	9	6	50	3
	非該当層	668	73	170	49	72	13	74	43	18	39	60	292	16
		100.0	12.5	26.2	7.9	12.3	2.0	10.5	6.8	2.5	5.8	8.2	42.1	2.3
中学2年生	全体	401	35	91	19	40	5	33	17	24	28	57	175	12
	生活困難層	19	4	6	1	4	-	4	3	-	-	1	7	-
	中間層	67	5	17	3	4	1	8	5	5	3	12	22	3
	非該当層	315	26	68	15	32	4	21	9	19	25	44	146	9
		100.0	8.7	22.7	4.7	10.0	1.2	8.2	4.2	6.0	7.0	14.2	43.6	3.0
		100.0	21.1	31.6	5.3	21.1	-	21.1	15.8	-	-	5.3	36.8	-
		100.0	7.5	25.4	4.5	6.0	1.5	11.9	7.5	7.5	4.5	17.9	32.8	4.5
		100.0	8.3	21.6	4.8	10.2	1.3	6.7	2.9	6.0	7.9	14.0	46.3	2.9

調査結果

●子育てについての相談相手・相談先として<子どもの勉強や学校に関する相談>は、全体では「家族」が小学5年生 81.0%、中学2年生 72.6%、「身近な人」が小学5年生 67.2%、中学2年生 67.3%、「子どもが通う学校の先生」が小学5年生 37.6%、中学2年生 37.9%となっています。「生活困難層」では小学5年生では「身近な人」「子どもが通う学校の先生」で全体よりも10ポイント以上低くなっています。<子どもの健康や発育に関する相談>は、全体では「家族」が小学5年生、中学2年生ともに80%を超えていますが、「生活困難層」では小学5年生で68.8%、中学2年生で78.9%となっています。

子育てについての相談相手・相談先

子どもの勉強や学校に関する相談		子どもの健康や発育に関する相談						
	調査数	家族(せきなど)・兄弟姉妹・自親分	身近な人(友人や地域の人など)	子どもが通う学校の先生	市役所・児童福祉事務所・相談窓口	相談できる人はいない	無回答	
							無回答	
小学5年生	全体	856	693	575	322	8	13	6
	生活困難層	48	36	26	12	-	1	-
	中間層	140	107	90	53	-	3	1
	非該当層	668	550	459	257	8	9	5
		100.0	81.0	67.2	37.6	0.9	1.5	0.7
		100.0	75.0	54.2	25.0	-	2.1	-
		100.0	76.4	64.3	37.9	-	2.1	0.7
		100.0	82.3	68.7	38.5	1.2	1.3	0.7
中学2年生	全体	401	291	270	152	5	9	10
	生活困難層	19	13	16	3	-	1	-
	中間層	67	42	35	24	1	4	4
	非該当層	315	236	219	125	4	4	6
		100.0	72.6	67.3	37.9	1.2	2.2	2.5
		100.0	68.4	84.2	15.8	-	5.3	-
		100.0	62.7	52.2	35.8	1.5	6.0	6.0
		100.0	74.9	69.5	39.7	1.3	1.3	1.9
小学5年生	全体	856	725	544	100	56	17	12
	生活困難層	48	33	27	3	2	2	2
	中間層	140	117	84	19	10	3	1
	非該当層	668	575	433	78	44	12	9
		100.0	84.7	63.6	11.7	6.5	2.0	1.4
		100.0	68.8	56.3	6.3	4.2	4.2	4.2
		100.0	83.6	60.0	13.6	7.1	2.1	0.7
		100.0	86.1	64.8	11.7	6.6	1.8	1.3
中学2年生	全体	401	330	239	44	21	11	8
	生活困難層	19	15	12	1	-	1	-
	中間層	67	49	34	6	4	3	3
	非該当層	315	266	193	37	17	7	5
		100.0	82.3	59.6	11.0	5.2	2.7	2.0
		100.0	78.9	63.2	5.3	-	5.3	-
		100.0	73.1	50.7	9.0	6.0	4.5	4.5
		100.0	84.4	61.3	11.7	5.4	2.2	1.6

調査結果

●子育てについての相談相手・相談先として<子どもの問題行動やしつけに関する相談>は、全体では「家族」が小学5年生、中学2年生ともに80%を超えています。生活困難層では小学5年生で75.0%、中学2年生で68.4%となっています。

子育てについての相談相手・相談先

子どもの問題行動やしつけに関する相談

	調査数	せの家族 （配 偶者 や 自 親 分 など）	傍 身 近 な 人 （友 人 や 同 人 など）	先 子 ど も が 通 う 学 校 の 先 生	の 所 、 市 役 所 、 福 祉 事 務 所 の 窓 口 など	い 相 談 で き る 人 は い な い	上段(人) 下段(%)	
							無 回 答	
小学5年生	全 体	856	737	539	187	23	21	10
	生活困難層	48	36	26	3	1	3	3
	中間層	140	118	93	34	3	5	1
	非該当層	668	583	420	150	19	13	6
中学2年生	全 体	401	325	241	73	10	15	7
	生活困難層	19	13	12	1	-	2	-
	中間層	67	49	36	9	2	5	3
	非該当層	315	263	193	63	8	8	4

調査結果

●公的機関への相談状況として<市役所・福祉事務所の窓口>に「相談する」は全体では小学5年生40.1%、中学2年生39.7%となっています。「生活困難層」では、小学5年生では全体と大きな差はみられませんが、中学2年生では「相談する」が26.3%と少なくなっています。<子育て支援センター・子育て支援拠点>に「相談する」は全体では小学5年生、中学2年生ともに20%程度となっています。「生活困難層」では、小学5年生で「相談する」が27.1%とやや高くなっています。

公的機関への相談状況

市役所・福祉事務所の窓口

子育て支援センター・子育て支援拠点

	調査数	相談する	相談しない	上段(人) 下段(%)	
				無 回 答	
小学5年生	全 体	856	343	493	20
	生活困難層	48	19	28	1
	中間層	140	48	89	3
	非該当層	668	276	376	16
中学2年生	全 体	401	159	227	15
	生活困難層	19	5	13	1
	中間層	67	26	38	3
	非該当層	315	128	176	11

	調査数	相談する	相談しない	上段(人) 下段(%)	
				無 回 答	
小学5年生	全 体	856	192	627	37
	生活困難層	48	13	32	3
	中間層	140	27	107	6
	非該当層	668	152	488	28
中学2年生	全 体	401	85	294	22
	生活困難層	19	2	16	1
	中間層	67	13	50	4
	非該当層	315	70	228	17

調査結果

●公的機関への相談状況として<子どもが通う保育園、幼稚園、学校の先生>に「相談する」は全体では小学5年生 60.7%、中学2年生 56.9%となっています。「生活困難層」では、小学5年生で 45.8%、中学2年生で 31.6%と少なくなっています。

公的機関への相談状況

		子どもが通う保育園、幼稚園、学校の先生			
			相談する	相談しない	無回答
		調査数	上段(人)	下段(%)	
小学5年生	全体	856 100.0	520 60.7	311 36.3	25 2.9
	生活困難層	48 100.0	22 45.8	24 50.0	2 4.2
	中間層	140 100.0	81 57.9	55 39.3	4 2.9
	非該当層	668 100.0	417 62.4	232 34.7	19 2.8
中学2年生	全体	401 100.0	228 56.9	161 40.1	12 3.0
	生活困難層	19 100.0	6 31.6	13 68.4	- -
	中間層	67 100.0	37 55.2	27 40.3	3 4.5
	非該当層	315 100.0	185 58.7	121 38.4	9 2.9

調査結果

●緊急時に頼ることができる親せきや友人の有無は、全体では「いる」は小学5年生で 78.5%、中学2年生で 73.3%となっています。小学5年生の「生活困難層」では、「いる」は 70.8%と少なくなっています。

緊急時に頼ることができる親せきや友人の有無

		上段(人)			
			いる	いない	無回答
		調査数	下段(%)		
小学5年生	全体	856 100.0	672 78.5	158 18.5	26 3.0
	生活困難層	48 100.0	34 70.8	11 22.9	3 6.3
	中間層	140 100.0	105 75.0	32 22.9	3 2.1
	非該当層	668 100.0	533 79.8	115 17.2	20 3.0
中学2年生	全体	401 100.0	294 73.3	102 25.4	5 1.2
	生活困難層	19 100.0	15 78.9	4 21.1	- -
	中間層	67 100.0	44 65.7	23 34.3	- -
	非該当層	315 100.0	235 74.6	75 23.8	5 1.6

③子どもの生活習慣・学習の状況

調査結果

- 子どもの朝食の摂取状況として、「毎日食べる」は、小学5年生 92.4%、中学2年生 89.5%となっています。小学5年生の「生活困難層」では、「毎日食べる」は 77.1%と少なくなっています。
- 毎食後の歯みがきの状況として、「必ずみがいている」は小学5年生 21.7%、中学2年生 27.4%となっています。小学5年生の「生活困難層」では、「必ずみがいている」は 16.7%と少なくなり、「ほとんどみがいていない」が 20.8%と多くなっています。

子どもの朝食の摂取状況

		調査数	毎日食べる	（週4〜6日） 食べる方が多い	（週1〜3日） 食べない方が多い	ほとんど食べない	無回答
小学5年生	全体	856	791	38	18	6	3
		100.0	92.4	4.4	2.1	0.7	0.4
	生活困難層	48	37	6	4	1	-
		100.0	77.1	12.5	8.3	2.1	-
	中間層	140	125	4	8	3	-
	100.0	89.3	2.9	5.7	2.1	-	
非該当層	668	629	28	6	2	3	
	100.0	94.2	4.2	0.9	0.3	0.4	
中学2年生	全体	401	359	19	10	9	4
		100.0	89.5	4.7	2.5	2.2	1.0
	生活困難層	19	17	-	1	1	-
		100.0	89.5	-	5.3	5.3	-
	中間層	67	56	5	3	2	1
	100.0	83.6	7.5	4.5	3.0	1.5	
非該当層	315	286	14	6	6	3	
	100.0	90.8	4.4	1.9	1.9	1.0	

歯みがきの状況

		調査数	必ずみがいている	みがいていない	みがいていない	みがいていない	わがまま	わからない	無回答
小学5年生	全体	856	186	521	131	10	4	4	
		100.0	21.7	60.9	15.3	1.2	0.5	0.5	
	生活困難層	48	8	30	10	-	-	-	
		100.0	16.7	62.5	20.8	-	-	-	
	中間層	140	26	79	32	2	-	1	
	100.0	18.6	56.4	22.9	1.4	-	0.7		
非該当層	668	152	412	89	8	4	3		
	100.0	22.8	61.7	13.3	1.2	0.6	0.4		
中学2年生	全体	401	110	228	59	2	4	4	
		100.0	27.4	56.9	13.2	0.5	1.0	1.0	
	生活困難層	19	8	9	2	-	-	-	
		100.0	42.1	47.4	10.5	-	-	-	
	中間層	67	14	45	4	1	2	1	
	100.0	20.9	67.2	6.0	1.5	3.0	1.5		
非該当層	315	88	174	47	1	2	3		
	100.0	27.9	55.2	14.9	0.3	0.6	1.0		

調査結果

- 子どもが落ち着いて勉強できる環境が「ある」の割合は、小学5年生 87.9%、中学2年生 89.8%となっています。小学5年生の「生活困難層」では、「ある」は 70.8%と少なくなっています。

落ち着いて勉強できる環境の有無

		調査数	ある	ない	無回答
小学5年生	全体	856	752	94	10
		100.0	87.9	11.0	1.2
	生活困難層	48	34	14	-
		100.0	70.8	29.2	-
	中間層	140	110	28	2
	100.0	78.6	20.0	1.4	
非該当層	668	608	52	8	
	100.0	91.0	7.8	1.2	
中学2年生	全体	401	360	35	6
		100.0	89.8	8.7	1.5
	生活困難層	19	16	3	-
		100.0	84.2	15.8	-
	中間層	67	59	8	-
	100.0	88.1	11.9	-	
非該当層	315	285	24	6	
	100.0	90.5	7.6	1.9	

かかりつけ医等に関するアンケート

市では、かかりつけ医・かかりつけ薬局の普及啓発等を図るため、小さなお子さまがいる保護者の方に、かかりつけ医等に関するアンケートを行っております。

お手数ですが、下記にご記入の上、お子さまの健診の際にお持ちください。よろしくお願いいたします。

※「かかりつけ医」とは…健康に関することを何でも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医を紹介してくれる、身近で頼りになる医師のこと。

※「かかりつけ薬局」とは…薬の使い方や疑問に答え、よき相談相手になってもらえる身近な薬局のことです。

*該当するものに○及び（ ）内にご記入ください。

1. お子さんのかかりつけ医（小児科）はありますか？

ある（市内・市・区・町） ・ ない

2. お子さんのかかりつけ薬局はありますか？

ある（市内・市・区・町） ・ ない

3. 診療時間外にお子さんの具合が悪くなったことはありましたか？

ある ・ ない

4. 3で「ある」と回答した方へ → その時、どうしましたか？

翌日まで様子をみた ・ 病院に行った ・ 救急車を呼んだ

その他（ ）

5. 最近（半年以内）、救急医療を利用したことがありますか？

ある（救急病院 ・ 日曜祭日の当番医 ・ その他） ・ ない

6. 埼玉県が発行している冊子「子どもの救急ミニガイドブック」を知っていますか？

知っている（活用している ・ 活用していない） ・ 知らない

7. 埼玉県救急電話相談＜小児救急電話相談＞ #7119（#8000）を知っていますか？

知っている（利用した ・ 利用したことはない） ・ 知らない

8. #7119（048-824-4199）（医療機関案内）を知っていますか？

知っている（利用した ・ 利用したことはない） ・ 知らない

9. かかりつけ医・かかりつけ薬局・救急医療について、ご意見などがあれば、ご記入ください。

（ ）

かかりつけ医に関するアンケート集計結果

1. お子さんのかかりつけ医（小児科）はありますか？

	ある		ない		無回答	
令和2年度	774	75.9%	236	24.1%	0	0.0%
令和3年度	871	76.6%	266	23.4%	0	0.0%
令和4年度	949	79.3%	247	20.6%	1	0.1%
令和5年度	851	78.7%	230	21.3%	0	0.0%
令和6年度	772	76.2%	241	23.8%	0	0.0%

【様式3】小学校集計表

質問番号 19

設問	選択肢	回答欄
0 学校名	○学校名を入力してください。 ※入力形式:○○市(町村)立□□小学校(中学校)	朝霞市立朝霞第一小学校
1-3 ○「学校応援コーディネーター」として配置されている方の人数を入力してください。 昨年度より学校応援コーディネーターが「増えた」場合→1-4へ 昨年度より学校応援コーディネーターが「減った」場合→1-5へ 昨年度と学校応援コーディネーターの「増減がない」場合→1-6へ		1
1-7 ○「学校応援コーディネーター」になっているのは、どのような方ですか。右の記号の中から当てはまるものを選び、該当するセルに人数を入力してください。 (「学校応援コーディネーター」1人につき、もっともよく当てはまるものを一つ選んでください。) →1-8へ	ア 現PTA関係者	
	イ 元PTA関係者(PTAのOBなど)	1
	ウ 学校評議員・学校運営協議会等関係者	
	エ 学校支援グループの関係者(「おやじの会」等の保護者による会やNPO団体等)	
	オ 町内会長・区長・自治会長など	
	カ 民生委員・児童委員	
	キ 学校教育に理解のある地域住民 (元自治会長、元民生委員等も含む)	
	ク 退職教職員	
	ケ 公民館等社会教育施設職員	
	コ 商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者	
	サ 企業関係者	
シ 行政関係者		
ス その他 (入力した場合、自由記述欄にどのような関係の方が記入してください。)		
自由記述欄 (最後に【○○市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)		
2-1 ○「ボランティア」として活動に携わる方の実人数の合計を入力してください。		13

【様式3】小学校集計表

設問	選択肢		回答欄
<p>3-1 ○今年度の「学校応援団」について、どのような活動を実施しましたか。右の記号の中から当てはまるものを全て選び、該当するセルに「1」を入力してください。</p>	ア	学習活動の支援 (読み聞かせ、ミシン等の支援、体験活動の支援、校外学習の付き添い、放課後や長期休業中の補習、ゲストティーチャー、学校行事の支援 等)	1
	イ	安心・安全確保の支援 (登下校の見守り、安全パトロールの実施 等)	
	ウ	学校の環境整備の支援 (樹木などの剪定、花壇整備、校舎の修繕、図書の整理 等)	1
	エ	部活動・クラブ活動の支援 (部活動やクラブ活動における指導・助言、部活動の大会などにおける引率の補助 等)	
	オ	生徒指導の支援 (授業中や休み時間における校舎内の巡回、登下校時のあいさつ運動 等)	
	カ	環境教育の支援 (ビオトープの整備、アルミ缶回収などのリサイクル活動 等)	
	キ	学校ファームの支援	
	ク	その他 (入力した場合、自由記述欄に当該活動を入力してください。)	
	自由記述欄 (最後に【〇〇市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)		
<p>3-2 ○上記3-1で回答した「学校応援団」の活動について、活動回数(年度末までの予定回数を含む)を、該当するセルに入力してください。</p>	ア	学習活動の支援 (読み聞かせ、ミシン等の支援、体験活動の支援、校外学習の付き添い、放課後や長期休業中の補習、ゲストティーチャー、学校行事の支援 等)	40
	イ	安心・安全確保の支援 (登下校の見守り、安全パトロールの実施 等)	95
	ウ	学校の環境整備の支援 (樹木などの剪定、花壇整備、校舎の修繕、図書の整理 等)	
	エ	部活動・クラブ活動の支援 (部活動やクラブ活動における指導・助言、部活動の大会などにおける引率の補助 等)	
	オ	生徒指導の支援 (授業中や休み時間における校舎内の巡回、登下校時のあいさつ運動 等)	
	カ	環境教育の支援 (ビオトープの整備、アルミ缶回収などのリサイクル活動 等)	
	キ	学校ファームの支援	
	ク	その他 (入力した場合、自由記述欄に当該活動を入力してください。)	
	自由記述欄 (最後に【〇〇市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)		
<p>3-3 ○今年度の「学校応援団」の活動が実施された「実日数」(年度末までの予定日数を含む)を入力してください。</p>			135

【様式3】小学校集計表

設問	選択肢	回答欄																																										
0 学校名	○学校名を入力してください。 ※入力形式:○○市(町村)立□□小学校(中学校)	朝霞市立朝霞第二小学校																																										
1-3 ○「学校応援コーディネーター」として配置されている方の人数を入力してください。 昨年度より学校応援コーディネーターが「増えた」場合→1-4へ 昨年度より学校応援コーディネーターが「減った」場合→1-5へ 昨年度と学校応援コーディネーターの「増減がない」場合→1-6へ		4																																										
1-7 ○「学校応援コーディネーター」になっているのは、どのような方ですか。右の記号の中から当てはまるものを選び、該当するセルに人数を入力してください。 (「学校応援コーディネーター」1人につき、もっともよく当てはまるものを一つ選んでください。) →1-8へ	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="357 521 405 595">ア</td> <td data-bbox="405 521 908 595">現PTA関係者</td> <td data-bbox="908 521 1217 595"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 595 405 669">イ</td> <td data-bbox="405 595 908 669">元PTA関係者(PTAのOBなど)</td> <td data-bbox="908 595 1217 669"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 669 405 743">ウ</td> <td data-bbox="405 669 908 743">学校評議員・学校運営協議会等関係者</td> <td data-bbox="908 669 1217 743">1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 743 405 817">エ</td> <td data-bbox="405 743 908 817">学校支援グループの関係者(「おやじの会」等の保護者による会やNPO団体等)</td> <td data-bbox="908 743 1217 817"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 817 405 891">オ</td> <td data-bbox="405 817 908 891">町内会長・区長・自治会長など</td> <td data-bbox="908 817 1217 891"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 891 405 965">カ</td> <td data-bbox="405 891 908 965">民生委員・児童委員</td> <td data-bbox="908 891 1217 965"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 965 405 1039">キ</td> <td data-bbox="405 965 908 1039">学校教育に理解のある地域住民(元自治会長、元民生委員等も含む)</td> <td data-bbox="908 965 1217 1039"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1039 405 1113">ク</td> <td data-bbox="405 1039 908 1113">退職教職員</td> <td data-bbox="908 1039 1217 1113"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1113 405 1187">ケ</td> <td data-bbox="405 1113 908 1187">公民館等社会教育施設職員</td> <td data-bbox="908 1113 1217 1187"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1187 405 1261">コ</td> <td data-bbox="405 1187 908 1261">商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者</td> <td data-bbox="908 1187 1217 1261"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1261 405 1335">サ</td> <td data-bbox="405 1261 908 1335">企業関係者</td> <td data-bbox="908 1261 1217 1335"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1335 405 1408">シ</td> <td data-bbox="405 1335 908 1408">行政関係者</td> <td data-bbox="908 1335 1217 1408"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1408 405 1482">ス</td> <td data-bbox="405 1408 908 1482">その他(入力した場合、自由記述欄にどのような関係の方が記入してください。)</td> <td data-bbox="908 1408 1217 1482"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1482 405 1547"></td> <td data-bbox="405 1482 908 1547">自由記述欄(最後に【○○市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)</td> <td data-bbox="908 1482 1217 1547"></td> </tr> </table>	ア	現PTA関係者		イ	元PTA関係者(PTAのOBなど)		ウ	学校評議員・学校運営協議会等関係者	1	エ	学校支援グループの関係者(「おやじの会」等の保護者による会やNPO団体等)		オ	町内会長・区長・自治会長など		カ	民生委員・児童委員		キ	学校教育に理解のある地域住民(元自治会長、元民生委員等も含む)		ク	退職教職員		ケ	公民館等社会教育施設職員		コ	商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者		サ	企業関係者		シ	行政関係者		ス	その他(入力した場合、自由記述欄にどのような関係の方が記入してください。)			自由記述欄(最後に【○○市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)		
ア	現PTA関係者																																											
イ	元PTA関係者(PTAのOBなど)																																											
ウ	学校評議員・学校運営協議会等関係者	1																																										
エ	学校支援グループの関係者(「おやじの会」等の保護者による会やNPO団体等)																																											
オ	町内会長・区長・自治会長など																																											
カ	民生委員・児童委員																																											
キ	学校教育に理解のある地域住民(元自治会長、元民生委員等も含む)																																											
ク	退職教職員																																											
ケ	公民館等社会教育施設職員																																											
コ	商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者																																											
サ	企業関係者																																											
シ	行政関係者																																											
ス	その他(入力した場合、自由記述欄にどのような関係の方が記入してください。)																																											
	自由記述欄(最後に【○○市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)																																											
2-1 ○「ボランティア」として活動に携わる方の実人数の合計を入力してください。		60																																										

【様式3】小学校集計表

設問	選択肢	回答欄
3-1 ○今年度の「学校応援団」について、どのような活動を実施しましたか。右の記号の中から当てはまるものを全て選び、該当するセルに「1」を入力してください。	ア 学習活動の支援 (読み聞かせ、ミシン等の支援、体験活動の支援、校外学習の付き添い、放課後や長期休業中の補習、ゲストティーチャー、学校行事の支援 等)	1
	イ 安心・安全確保の支援 (登下校の見守り、安全パトロールの実施 等)	
	ウ 学校の環境整備の支援 (樹木などの剪定、花壇整備、校舎の修繕、図書の整理 等)	1
	エ 部活動・クラブ活動の支援 (部活動やクラブ活動における指導・助言、部活動の大会などにおける引率の補助 等)	
	オ 生徒指導の支援 (授業中や休み時間における校舎内の巡回、登下校時のあいさつ運動 等)	1
	カ 環境教育の支援 (ビオトープの整備、アルミ缶回収などのリサイクル活動 等)	1
	キ 学校ファームの支援	1
	ク その他 (入力した場合、自由記述欄に当該活動を入力してください。)	
	自由記述欄 (最後に【〇〇市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)	
3-2 ○上記3-1で回答した「学校応援団」の活動について、活動回数(年度末までの予定回数を含む)を、該当するセルに入力してください。	ア 学習活動の支援 (読み聞かせ、ミシン等の支援、体験活動の支援、校外学習の付き添い、放課後や長期休業中の補習、ゲストティーチャー、学校行事の支援 等)	150
	イ 安心・安全確保の支援 (登下校の見守り、安全パトロールの実施 等)	
	ウ 学校の環境整備の支援 (樹木などの剪定、花壇整備、校舎の修繕、図書の整理 等)	3
	エ 部活動・クラブ活動の支援 (部活動やクラブ活動における指導・助言、部活動の大会などにおける引率の補助 等)	
	オ 生徒指導の支援 (授業中や休み時間における校舎内の巡回、登下校時のあいさつ運動 等)	10
	カ 環境教育の支援 (ビオトープの整備、アルミ缶回収などのリサイクル活動 等)	1
	キ 学校ファームの支援	10
	ク その他 (入力した場合、自由記述欄に当該活動を入力してください。)	
	自由記述欄 (最後に【〇〇市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)	
3-3 ○今年度の「学校応援団」の活動が実施された「実日数」(年度末までの予定日数を含む)を入力してください。		173

【様式3】小学校集計表

設問	選択肢	回答欄																												
0 学校名	○学校名を入力してください。 ※入力形式:○○市(町村)立□□小学校(中学校)	朝霞市立朝霞第三小学校																												
1-3 ○「学校応援コーディネーター」として配置されている方の人数を入力してください。 昨年度より学校応援コーディネーターが「増えた」場合→1-4へ 昨年度より学校応援コーディネーターが「減った」場合→1-5へ 昨年度と学校応援コーディネーターの「増減がない」場合→1-6へ		3																												
1-7 ○「学校応援コーディネーター」になっているのは、どのような方ですか。右の記号の中から当てはまるものを選び、該当するセルに人数を入力してください。 (「学校応援コーディネーター」1人につき、もっともよく当てはまるものを一つ選んでください。) →1-8へ	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="357 521 405 593">ア</td> <td data-bbox="405 521 908 593">現PTA関係者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 593 405 665">イ</td> <td data-bbox="405 593 908 665">元PTA関係者(PTAのOBなど)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 665 405 736">ウ</td> <td data-bbox="405 665 908 736">学校評議員・学校運営協議会等関係者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 736 405 808">エ</td> <td data-bbox="405 736 908 808">学校支援グループの関係者(「おやじの会」等の保護者による会やNPO団体等)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 808 405 880">オ</td> <td data-bbox="405 808 908 880">町内会長・区長・自治会長など</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 880 405 952">カ</td> <td data-bbox="405 880 908 952">民生委員・児童委員</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 952 405 1023">キ</td> <td data-bbox="405 952 908 1023">学校教育に理解のある地域住民(元自治会長、元民生委員等も含む)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1023 405 1095">ク</td> <td data-bbox="405 1023 908 1095">退職教職員</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1095 405 1167">ケ</td> <td data-bbox="405 1095 908 1167">公民館等社会教育施設職員</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1167 405 1238">コ</td> <td data-bbox="405 1167 908 1238">商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1238 405 1310">サ</td> <td data-bbox="405 1238 908 1310">企業関係者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1310 405 1382">シ</td> <td data-bbox="405 1310 908 1382">行政関係者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1382 405 1476">ス</td> <td data-bbox="405 1382 908 1476">その他(入力した場合、自由記述欄にどのような関係の方が記入してください。)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1476 405 1547"></td> <td data-bbox="405 1476 908 1547">自由記述欄(最後に【○○市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)</td> </tr> </table>	ア	現PTA関係者	イ	元PTA関係者(PTAのOBなど)	ウ	学校評議員・学校運営協議会等関係者	エ	学校支援グループの関係者(「おやじの会」等の保護者による会やNPO団体等)	オ	町内会長・区長・自治会長など	カ	民生委員・児童委員	キ	学校教育に理解のある地域住民(元自治会長、元民生委員等も含む)	ク	退職教職員	ケ	公民館等社会教育施設職員	コ	商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者	サ	企業関係者	シ	行政関係者	ス	その他(入力した場合、自由記述欄にどのような関係の方が記入してください。)		自由記述欄(最後に【○○市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)	3
ア	現PTA関係者																													
イ	元PTA関係者(PTAのOBなど)																													
ウ	学校評議員・学校運営協議会等関係者																													
エ	学校支援グループの関係者(「おやじの会」等の保護者による会やNPO団体等)																													
オ	町内会長・区長・自治会長など																													
カ	民生委員・児童委員																													
キ	学校教育に理解のある地域住民(元自治会長、元民生委員等も含む)																													
ク	退職教職員																													
ケ	公民館等社会教育施設職員																													
コ	商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者																													
サ	企業関係者																													
シ	行政関係者																													
ス	その他(入力した場合、自由記述欄にどのような関係の方が記入してください。)																													
	自由記述欄(最後に【○○市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)																													
2-1 ○「ボランティア」として活動に携わる方の実人数の合計を入力してください。		10																												

【様式3】小学校集計表

設問	選択肢	回答欄	
3-1 ○今年度の「学校応援団」について、どのような活動を実施しましたか。右の記号の中から当てはまるものを全て選び、該当するセルに「1」を入力してください。	ア	学習活動の支援 (読み聞かせ、ミシン等の支援、体験活動の支援、校外学習の付き添い、放課後や長期休業中の補習、ゲストティーチャー、学校行事の支援 等)	1
	イ	安心・安全確保の支援 (登下校の見守り、安全パトロールの実施 等)	1
	ウ	学校の環境整備の支援 (樹木などの剪定、花壇整備、校舎の修繕、図書の整理 等)	1
	エ	部活動・クラブ活動の支援 (部活動やクラブ活動における指導・助言、部活動の大会などにおける引率の補助 等)	
	オ	生徒指導の支援 (授業中や休み時間における校舎内の巡回、登下校時のあいさつ運動 等)	
	カ	環境教育の支援 (ビオトープの整備、アルミ缶回収などのリサイクル活動 等)	
	キ	学校ファームの支援	1
	ク	その他 (入力した場合、自由記述欄に当該活動を入力してください。)	
	自由記述欄 (最後に【〇〇市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)		
3-2 ○上記3-1で回答した「学校応援団」の活動について、活動回数(年度末までの予定回数を含む)を、該当するセルに入力してください。	ア	学習活動の支援 (読み聞かせ、ミシン等の支援、体験活動の支援、校外学習の付き添い、放課後や長期休業中の補習、ゲストティーチャー、学校行事の支援 等)	30
	イ	安心・安全確保の支援 (登下校の見守り、安全パトロールの実施 等)	120
	ウ	学校の環境整備の支援 (樹木などの剪定、花壇整備、校舎の修繕、図書の整理 等)	3
	エ	部活動・クラブ活動の支援 (部活動やクラブ活動における指導・助言、部活動の大会などにおける引率の補助 等)	
	オ	生徒指導の支援 (授業中や休み時間における校舎内の巡回、登下校時のあいさつ運動 等)	
	カ	環境教育の支援 (ビオトープの整備、アルミ缶回収などのリサイクル活動 等)	
	キ	学校ファームの支援	10
	ク	その他 (入力した場合、自由記述欄に当該活動を入力してください。)	
	自由記述欄 (最後に【〇〇市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)		
3-3 ○今年度の「学校応援団」の活動が実施された「実日数」(年度末までの予定日数を含む)を入力してください。		163	

【様式3】小学校集計表

設問	選択肢	回答欄																																										
0 学校名	○学校名を入力してください。 ※入力形式:○○市(町村)立□□小学校(中学校)	朝霞市立朝霞第四小学校																																										
1-3 ○「学校応援コーディネーター」として配置されている方の人数を入力してください。 昨年度より学校応援コーディネーターが「増えた」場合→1-4へ 昨年度より学校応援コーディネーターが「減った」場合→1-5へ 昨年度と学校応援コーディネーターの「増減がない」場合→1-6へ		2																																										
1-7 ○「学校応援コーディネーター」になっているのは、どのような方ですか。右の記号の中から当てはまるものを選び、該当するセルに人数を入力してください。 (「学校応援コーディネーター」1人につき、もっともよく当てはまるものを一つ選んでください。) →1-8へ	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="357 521 405 595">ア</td> <td data-bbox="405 521 908 595">現PTA関係者</td> <td data-bbox="908 521 1217 595">1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 595 405 669">イ</td> <td data-bbox="405 595 908 669">元PTA関係者(PTAのOBなど)</td> <td data-bbox="908 595 1217 669"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 669 405 743">ウ</td> <td data-bbox="405 669 908 743">学校評議員・学校運営協議会等関係者</td> <td data-bbox="908 669 1217 743">1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 743 405 817">エ</td> <td data-bbox="405 743 908 817">学校支援グループの関係者(「おやじの会」等の保護者による会やNPO団体等)</td> <td data-bbox="908 743 1217 817"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 817 405 891">オ</td> <td data-bbox="405 817 908 891">町内会長・区長・自治会長など</td> <td data-bbox="908 817 1217 891"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 891 405 965">カ</td> <td data-bbox="405 891 908 965">民生委員・児童委員</td> <td data-bbox="908 891 1217 965"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 965 405 1039">キ</td> <td data-bbox="405 965 908 1039">学校教育に理解のある地域住民(元自治会長、元民生委員等も含む)</td> <td data-bbox="908 965 1217 1039"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1039 405 1113">ク</td> <td data-bbox="405 1039 908 1113">退職教職員</td> <td data-bbox="908 1039 1217 1113"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1113 405 1187">ケ</td> <td data-bbox="405 1113 908 1187">公民館等社会教育施設職員</td> <td data-bbox="908 1113 1217 1187"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1187 405 1261">コ</td> <td data-bbox="405 1187 908 1261">商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者</td> <td data-bbox="908 1187 1217 1261"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1261 405 1335">サ</td> <td data-bbox="405 1261 908 1335">企業関係者</td> <td data-bbox="908 1261 1217 1335"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1335 405 1408">シ</td> <td data-bbox="405 1335 908 1408">行政関係者</td> <td data-bbox="908 1335 1217 1408"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1408 405 1482">ス</td> <td data-bbox="405 1408 908 1482">その他 (入力した場合、自由記述欄にどのような関係の方が記入してください。)</td> <td data-bbox="908 1408 1217 1482"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1482 405 1547"></td> <td data-bbox="405 1482 908 1547">自由記述欄 (最後に【○○市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)</td> <td data-bbox="908 1482 1217 1547"></td> </tr> </table>	ア	現PTA関係者	1	イ	元PTA関係者(PTAのOBなど)		ウ	学校評議員・学校運営協議会等関係者	1	エ	学校支援グループの関係者(「おやじの会」等の保護者による会やNPO団体等)		オ	町内会長・区長・自治会長など		カ	民生委員・児童委員		キ	学校教育に理解のある地域住民(元自治会長、元民生委員等も含む)		ク	退職教職員		ケ	公民館等社会教育施設職員		コ	商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者		サ	企業関係者		シ	行政関係者		ス	その他 (入力した場合、自由記述欄にどのような関係の方が記入してください。)			自由記述欄 (最後に【○○市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)		
ア	現PTA関係者	1																																										
イ	元PTA関係者(PTAのOBなど)																																											
ウ	学校評議員・学校運営協議会等関係者	1																																										
エ	学校支援グループの関係者(「おやじの会」等の保護者による会やNPO団体等)																																											
オ	町内会長・区長・自治会長など																																											
カ	民生委員・児童委員																																											
キ	学校教育に理解のある地域住民(元自治会長、元民生委員等も含む)																																											
ク	退職教職員																																											
ケ	公民館等社会教育施設職員																																											
コ	商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者																																											
サ	企業関係者																																											
シ	行政関係者																																											
ス	その他 (入力した場合、自由記述欄にどのような関係の方が記入してください。)																																											
	自由記述欄 (最後に【○○市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)																																											
2-1 ○「ボランティア」として活動に携わる方の実人数の合計を入力してください。		18																																										

【様式3】小学校集計表

設問	選択肢	回答欄	
3-1 ○今年度の「学校応援団」について、どのような活動を実施しましたか。右の記号の中から当てはまるものを全て選び、該当するセルに「1」を入力してください。	ア	学習活動の支援 (読み聞かせ、ミシン等の支援、体験活動の支援、校外学習の付き添い、放課後や長期休業中の補習、ゲストティーチャー、学校行事の支援 等)	1
	イ	安心・安全確保の支援 (登下校の見守り、安全パトロールの実施 等)	1
	ウ	学校の環境整備の支援 (樹木などの剪定、花壇整備、校舎の修繕、図書の整理 等)	1
	エ	部活動・クラブ活動の支援 (部活動やクラブ活動における指導・助言、部活動の大会などにおける引率の補助 等)	
	オ	生徒指導の支援 (授業中や休み時間における校舎内の巡回、登下校時のあいさつ運動 等)	
	カ	環境教育の支援 (ビオトープの整備、アルミ缶回収などのリサイクル活動 等)	
	キ	学校ファームの支援	1
	ク	その他 (入力した場合、自由記述欄に当該活動を入力してください。)	
	自由記述欄 (最後に【〇〇市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)		
3-2 ○上記3-1で回答した「学校応援団」の活動について、活動回数(年度末までの予定回数を含む)を、該当するセルに入力してください。	ア	学習活動の支援 (読み聞かせ、ミシン等の支援、体験活動の支援、校外学習の付き添い、放課後や長期休業中の補習、ゲストティーチャー、学校行事の支援 等)	9
	イ	安心・安全確保の支援 (登下校の見守り、安全パトロールの実施 等)	3
	ウ	学校の環境整備の支援 (樹木などの剪定、花壇整備、校舎の修繕、図書の整理 等)	3
	エ	部活動・クラブ活動の支援 (部活動やクラブ活動における指導・助言、部活動の大会などにおける引率の補助 等)	
	オ	生徒指導の支援 (授業中や休み時間における校舎内の巡回、登下校時のあいさつ運動 等)	
	カ	環境教育の支援 (ビオトープの整備、アルミ缶回収などのリサイクル活動 等)	
	キ	学校ファームの支援	6
	ク	その他 (入力した場合、自由記述欄に当該活動を入力してください。)	
	自由記述欄 (最後に【〇〇市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)		
3-3 ○今年度の「学校応援団」の活動が実施された「実日数」(年度末までの予定日数を含む)を入力してください。		22	

【様式3】小学校集計表

設問	選択肢	回答欄																																										
0 学校名	○学校名を入力してください。 ※入力形式:○○市(町村)立□□小学校(中学校)	朝霞市立朝霞第五小学校																																										
1-3 ○「学校応援コーディネーター」として配置されている方の人数を入力してください。 昨年度より学校応援コーディネーターが「増えた」場合→1-4へ 昨年度より学校応援コーディネーターが「減った」場合→1-5へ 昨年度と学校応援コーディネーターの「増減がない」場合→1-6へ		1																																										
1-7 ○「学校応援コーディネーター」になっているのは、どのような方ですか。右の記号の中から当てはまるものを選び、該当するセルに人数を入力してください。 (「学校応援コーディネーター」1人につき、もっともよく当てはまるものを一つ選んでください。) →1-8へ	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="357 521 405 593">ア</td> <td data-bbox="405 521 908 593">現PTA関係者</td> <td data-bbox="908 521 1217 593">1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 593 405 665">イ</td> <td data-bbox="405 593 908 665">元PTA関係者(PTAのOBなど)</td> <td data-bbox="908 593 1217 665"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 665 405 736">ウ</td> <td data-bbox="405 665 908 736">学校評議員・学校運営協議会等関係者</td> <td data-bbox="908 665 1217 736"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 736 405 808">エ</td> <td data-bbox="405 736 908 808">学校支援グループの関係者(「おやじの会」等の保護者による会やNPO団体等)</td> <td data-bbox="908 736 1217 808"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 808 405 880">オ</td> <td data-bbox="405 808 908 880">町内会長・区長・自治会長など</td> <td data-bbox="908 808 1217 880"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 880 405 952">カ</td> <td data-bbox="405 880 908 952">民生委員・児童委員</td> <td data-bbox="908 880 1217 952"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 952 405 1023">キ</td> <td data-bbox="405 952 908 1023">学校教育に理解のある地域住民(元自治会長、元民生委員等も含む)</td> <td data-bbox="908 952 1217 1023"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1023 405 1095">ク</td> <td data-bbox="405 1023 908 1095">退職教職員</td> <td data-bbox="908 1023 1217 1095"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1095 405 1167">ケ</td> <td data-bbox="405 1095 908 1167">公民館等社会教育施設職員</td> <td data-bbox="908 1095 1217 1167"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1167 405 1238">コ</td> <td data-bbox="405 1167 908 1238">商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者</td> <td data-bbox="908 1167 1217 1238"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1238 405 1310">サ</td> <td data-bbox="405 1238 908 1310">企業関係者</td> <td data-bbox="908 1238 1217 1310"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1310 405 1382">シ</td> <td data-bbox="405 1310 908 1382">行政関係者</td> <td data-bbox="908 1310 1217 1382"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1382 405 1476">ス</td> <td data-bbox="405 1382 908 1476">その他 (入力した場合、自由記述欄にどのような関係の方が記入してください。)</td> <td data-bbox="908 1382 1217 1476"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1476 405 1547"></td> <td data-bbox="405 1476 908 1547">自由記述欄 (最後に【○○市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)</td> <td data-bbox="908 1476 1217 1547"></td> </tr> </table>	ア	現PTA関係者	1	イ	元PTA関係者(PTAのOBなど)		ウ	学校評議員・学校運営協議会等関係者		エ	学校支援グループの関係者(「おやじの会」等の保護者による会やNPO団体等)		オ	町内会長・区長・自治会長など		カ	民生委員・児童委員		キ	学校教育に理解のある地域住民(元自治会長、元民生委員等も含む)		ク	退職教職員		ケ	公民館等社会教育施設職員		コ	商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者		サ	企業関係者		シ	行政関係者		ス	その他 (入力した場合、自由記述欄にどのような関係の方が記入してください。)			自由記述欄 (最後に【○○市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)		
ア	現PTA関係者	1																																										
イ	元PTA関係者(PTAのOBなど)																																											
ウ	学校評議員・学校運営協議会等関係者																																											
エ	学校支援グループの関係者(「おやじの会」等の保護者による会やNPO団体等)																																											
オ	町内会長・区長・自治会長など																																											
カ	民生委員・児童委員																																											
キ	学校教育に理解のある地域住民(元自治会長、元民生委員等も含む)																																											
ク	退職教職員																																											
ケ	公民館等社会教育施設職員																																											
コ	商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者																																											
サ	企業関係者																																											
シ	行政関係者																																											
ス	その他 (入力した場合、自由記述欄にどのような関係の方が記入してください。)																																											
	自由記述欄 (最後に【○○市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)																																											
2-1 ○「ボランティア」として活動に携わる方の実人数の合計を入力してください。		60																																										

【様式3】小学校集計表

設問	選択肢	回答欄	
3-1 ○今年度の「学校応援団」について、どのような活動を実施しましたか。右の記号の中から当てはまるものを全て選び、該当するセルに「1」を入力してください。	ア	学習活動の支援 (読み聞かせ、ミシン等の支援、体験活動の支援、校外学習の付き添い、放課後や長期休業中の補習、ゲストティーチャー、学校行事の支援 等)	1
	イ	安心・安全確保の支援 (登下校の見守り、安全パトロールの実施 等)	1
	ウ	学校の環境整備の支援 (樹木などの剪定、花壇整備、校舎の修繕、図書の整理 等)	1
	エ	部活動・クラブ活動の支援 (部活動やクラブ活動における指導・助言、部活動の大会などにおける引率の補助 等)	
	オ	生徒指導の支援 (授業中や休み時間における校舎内の巡回、登下校時のあいさつ運動 等)	
	カ	環境教育の支援 (ビオトープの整備、アルミ缶回収などのリサイクル活動 等)	1
	キ	学校ファームの支援	1
	ク	その他 (入力した場合、自由記述欄に当該活動を入力してください。)	
	自由記述欄 (最後に【〇〇市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)		
3-2 ○上記3-1で回答した「学校応援団」の活動について、活動回数(年度末までの予定回数を含む)を、該当するセルに入力してください。	ア	学習活動の支援 (読み聞かせ、ミシン等の支援、体験活動の支援、校外学習の付き添い、放課後や長期休業中の補習、ゲストティーチャー、学校行事の支援 等)	139
	イ	安心・安全確保の支援 (登下校の見守り、安全パトロールの実施 等)	200
	ウ	学校の環境整備の支援 (樹木などの剪定、花壇整備、校舎の修繕、図書の整理 等)	93
	エ	部活動・クラブ活動の支援 (部活動やクラブ活動における指導・助言、部活動の大会などにおける引率の補助 等)	0
	オ	生徒指導の支援 (授業中や休み時間における校舎内の巡回、登下校時のあいさつ運動 等)	200
	カ	環境教育の支援 (ビオトープの整備、アルミ缶回収などのリサイクル活動 等)	12
	キ	学校ファームの支援	12
	ク	その他 (入力した場合、自由記述欄に当該活動を入力してください。)	
	自由記述欄 (最後に【〇〇市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)		
3-3 ○今年度の「学校応援団」の活動が実施された「実日数」(年度末までの予定日数を含む)を入力してください。		70	

【様式3】小学校集計表

設問	選択肢	回答欄																												
0 学校名	○学校名を入力してください。 ※入力形式:○○市(町村)立□□小学校(中学校)	朝霞市立朝霞第六小学校																												
1-3 ○「学校応援コーディネーター」として配置されている方の人数を入力してください。 昨年度より学校応援コーディネーターが「増えた」場合→1-4へ 昨年度より学校応援コーディネーターが「減った」場合→1-5へ 昨年度と学校応援コーディネーターの「増減がない」場合→1-6へ		1																												
1-7 ○「学校応援コーディネーター」になっているのは、どのような方ですか。右の記号の中から当てはまるものを選び、該当するセルに人数を入力してください。 (「学校応援コーディネーター」1人につき、もっともよく当てはまるものを一つ選んでください。) →1-8へ	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="357 521 405 595">ア</td> <td data-bbox="405 521 906 595">現PTA関係者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 595 405 669">イ</td> <td data-bbox="405 595 906 669">元PTA関係者(PTAのOBなど)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 669 405 743">ウ</td> <td data-bbox="405 669 906 743">学校評議員・学校運営協議会等関係者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 743 405 817">エ</td> <td data-bbox="405 743 906 817">学校支援グループの関係者(「おやじの会」等の保護者による会やNPO団体等)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 817 405 891">オ</td> <td data-bbox="405 817 906 891">町内会長・区長・自治会長など</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 891 405 965">カ</td> <td data-bbox="405 891 906 965">民生委員・児童委員</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 965 405 1039">キ</td> <td data-bbox="405 965 906 1039">学校教育に理解のある地域住民(元自治会長、元民生委員等も含む)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1039 405 1113">ク</td> <td data-bbox="405 1039 906 1113">退職教職員</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1113 405 1187">ケ</td> <td data-bbox="405 1113 906 1187">公民館等社会教育施設職員</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1187 405 1261">コ</td> <td data-bbox="405 1187 906 1261">商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1261 405 1335">サ</td> <td data-bbox="405 1261 906 1335">企業関係者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1335 405 1408">シ</td> <td data-bbox="405 1335 906 1408">行政関係者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1408 405 1482">ス</td> <td data-bbox="405 1408 906 1482">その他(入力した場合、自由記述欄にどのような関係の方が記入してください。)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1482 405 1547"></td> <td data-bbox="405 1482 906 1547">自由記述欄(最後に【○○市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)</td> </tr> </table>	ア	現PTA関係者	イ	元PTA関係者(PTAのOBなど)	ウ	学校評議員・学校運営協議会等関係者	エ	学校支援グループの関係者(「おやじの会」等の保護者による会やNPO団体等)	オ	町内会長・区長・自治会長など	カ	民生委員・児童委員	キ	学校教育に理解のある地域住民(元自治会長、元民生委員等も含む)	ク	退職教職員	ケ	公民館等社会教育施設職員	コ	商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者	サ	企業関係者	シ	行政関係者	ス	その他(入力した場合、自由記述欄にどのような関係の方が記入してください。)		自由記述欄(最後に【○○市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)	1
ア	現PTA関係者																													
イ	元PTA関係者(PTAのOBなど)																													
ウ	学校評議員・学校運営協議会等関係者																													
エ	学校支援グループの関係者(「おやじの会」等の保護者による会やNPO団体等)																													
オ	町内会長・区長・自治会長など																													
カ	民生委員・児童委員																													
キ	学校教育に理解のある地域住民(元自治会長、元民生委員等も含む)																													
ク	退職教職員																													
ケ	公民館等社会教育施設職員																													
コ	商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者																													
サ	企業関係者																													
シ	行政関係者																													
ス	その他(入力した場合、自由記述欄にどのような関係の方が記入してください。)																													
	自由記述欄(最後に【○○市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)																													
2-1 ○「ボランティア」として活動に携わる方の実人数の合計を入力してください。		50																												

【様式3】小学校集計表

設問	選択肢	回答欄
3-1 ○今年度の「学校応援団」について、どのような活動を実施しましたか。右の記号の中から当てはまるものを全て選び、該当するセルに「1」を入力してください。	ア 学習活動の支援 (読み聞かせ、ミシン等の支援、体験活動の支援、校外学習の付き添い、放課後や長期休業中の補習、ゲストティーチャー、学校行事の支援 等)	1
	イ 安心・安全確保の支援 (登下校の見守り、安全パトロールの実施 等)	1
	ウ 学校の環境整備の支援 (樹木などの剪定、花壇整備、校舎の修繕、図書の整理 等)	
	エ 部活動・クラブ活動の支援 (部活動やクラブ活動における指導・助言、部活動の大会などにおける引率の補助 等)	1
	オ 生徒指導の支援 (授業中や休み時間における校舎内の巡回、登下校時のあいさつ運動 等)	
	カ 環境教育の支援 (ビオトープの整備、アルミ缶回収などのリサイクル活動 等)	
	キ 学校ファームの支援	
	ク その他 (入力した場合、自由記述欄に当該活動を入力してください。)	
	自由記述欄 (最後に【〇〇市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)	
3-2 ○上記3-1で回答した「学校応援団」の活動について、活動回数(年度末までの予定回数を含む)を、該当するセルに入力してください。	ア 学習活動の支援 (読み聞かせ、ミシン等の支援、体験活動の支援、校外学習の付き添い、放課後や長期休業中の補習、ゲストティーチャー、学校行事の支援 等)	43
	イ 安心・安全確保の支援 (登下校の見守り、安全パトロールの実施 等)	46
	ウ 学校の環境整備の支援 (樹木などの剪定、花壇整備、校舎の修繕、図書の整理 等)	
	エ 部活動・クラブ活動の支援 (部活動やクラブ活動における指導・助言、部活動の大会などにおける引率の補助 等)	1
	オ 生徒指導の支援 (授業中や休み時間における校舎内の巡回、登下校時のあいさつ運動 等)	
	カ 環境教育の支援 (ビオトープの整備、アルミ缶回収などのリサイクル活動 等)	
	キ 学校ファームの支援	
	ク その他 (入力した場合、自由記述欄に当該活動を入力してください。)	
	自由記述欄 (最後に【〇〇市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)	
3-3 ○今年度の「学校応援団」の活動が実施された「実日数」(年度末までの予定日数を含む)を入力してください。		90

【様式3】小学校集計表

設問	選択肢	回答欄																																										
0 学校名	○学校名を入力してください。 ※入力形式:○○市(町村)立□□小学校(中学校)	朝霞市立朝霞第七小学校																																										
1-3 ○「学校応援コーディネーター」として配置されている方の人数を入力してください。 昨年度より学校応援コーディネーターが「増えた」場合→1-4へ 昨年度より学校応援コーディネーターが「減った」場合→1-5へ 昨年度と学校応援コーディネーターの「増減がない」場合→1-6へ		1																																										
1-7 ○「学校応援コーディネーター」になっているのは、どのような方ですか。右の記号の中から当てはまるものを選び、該当するセルに人数を入力してください。 (「学校応援コーディネーター」1人につき、もっともよく当てはまるものを一つ選んでください。) →1-8へ	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="357 521 405 593">ア</td> <td data-bbox="405 521 908 593">現PTA関係者</td> <td data-bbox="908 521 1217 593">1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 593 405 665">イ</td> <td data-bbox="405 593 908 665">元PTA関係者(PTAのOBなど)</td> <td data-bbox="908 593 1217 665"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 665 405 736">ウ</td> <td data-bbox="405 665 908 736">学校評議員・学校運営協議会等関係者</td> <td data-bbox="908 665 1217 736"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 736 405 808">エ</td> <td data-bbox="405 736 908 808">学校支援グループの関係者(「おやじの会」等の保護者による会やNPO団体等)</td> <td data-bbox="908 736 1217 808"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 808 405 880">オ</td> <td data-bbox="405 808 908 880">町内会長・区長・自治会長など</td> <td data-bbox="908 808 1217 880"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 880 405 952">カ</td> <td data-bbox="405 880 908 952">民生委員・児童委員</td> <td data-bbox="908 880 1217 952"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 952 405 1023">キ</td> <td data-bbox="405 952 908 1023">学校教育に理解のある地域住民(元自治会長、元民生委員等も含む)</td> <td data-bbox="908 952 1217 1023"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1023 405 1095">ク</td> <td data-bbox="405 1023 908 1095">退職教職員</td> <td data-bbox="908 1023 1217 1095"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1095 405 1167">ケ</td> <td data-bbox="405 1095 908 1167">公民館等社会教育施設職員</td> <td data-bbox="908 1095 1217 1167"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1167 405 1238">コ</td> <td data-bbox="405 1167 908 1238">商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者</td> <td data-bbox="908 1167 1217 1238"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1238 405 1310">サ</td> <td data-bbox="405 1238 908 1310">企業関係者</td> <td data-bbox="908 1238 1217 1310"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1310 405 1382">シ</td> <td data-bbox="405 1310 908 1382">行政関係者</td> <td data-bbox="908 1310 1217 1382"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1382 405 1476">ス</td> <td data-bbox="405 1382 908 1476">その他 (入力した場合、自由記述欄にどのような関係の方が記入してください。)</td> <td data-bbox="908 1382 1217 1476"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1476 405 1547"></td> <td data-bbox="405 1476 908 1547">自由記述欄 (最後に【○○市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)</td> <td data-bbox="908 1476 1217 1547"></td> </tr> </table>	ア	現PTA関係者	1	イ	元PTA関係者(PTAのOBなど)		ウ	学校評議員・学校運営協議会等関係者		エ	学校支援グループの関係者(「おやじの会」等の保護者による会やNPO団体等)		オ	町内会長・区長・自治会長など		カ	民生委員・児童委員		キ	学校教育に理解のある地域住民(元自治会長、元民生委員等も含む)		ク	退職教職員		ケ	公民館等社会教育施設職員		コ	商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者		サ	企業関係者		シ	行政関係者		ス	その他 (入力した場合、自由記述欄にどのような関係の方が記入してください。)			自由記述欄 (最後に【○○市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)		
ア	現PTA関係者	1																																										
イ	元PTA関係者(PTAのOBなど)																																											
ウ	学校評議員・学校運営協議会等関係者																																											
エ	学校支援グループの関係者(「おやじの会」等の保護者による会やNPO団体等)																																											
オ	町内会長・区長・自治会長など																																											
カ	民生委員・児童委員																																											
キ	学校教育に理解のある地域住民(元自治会長、元民生委員等も含む)																																											
ク	退職教職員																																											
ケ	公民館等社会教育施設職員																																											
コ	商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者																																											
サ	企業関係者																																											
シ	行政関係者																																											
ス	その他 (入力した場合、自由記述欄にどのような関係の方が記入してください。)																																											
	自由記述欄 (最後に【○○市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)																																											
2-1 ○「ボランティア」として活動に携わる方の実人数の合計を入力してください。		35																																										

【様式3】小学校集計表

設問	選択肢		回答欄
<p>3-1 ○今年度の「学校応援団」について、どのような活動を実施しましたか。右の記号の中から当てはまるものを全て選び、該当するセルに「1」を入力してください。</p>	ア	学習活動の支援 (読み聞かせ、ミシン等の支援、体験活動の支援、校外学習の付き添い、放課後や長期休業中の補習、ゲストティーチャー、学校行事の支援 等)	
	イ	安心・安全確保の支援 (登下校の見守り、安全パトロールの実施 等)	
	ウ	学校の環境整備の支援 (樹木などの剪定、花壇整備、校舎の修繕、図書の整理 等)	1
	エ	部活動・クラブ活動の支援 (部活動やクラブ活動における指導・助言、部活動の大会などにおける引率の補助 等)	
	オ	生徒指導の支援 (授業中や休み時間における校舎内の巡回、登下校時のあいさつ運動 等)	
	カ	環境教育の支援 (ビオトープの整備、アルミ缶回収などのリサイクル活動 等)	
	キ	学校ファームの支援	
	ク	その他 (入力した場合、自由記述欄に当該活動を入力してください。)	
	自由記述欄 (最後に【〇〇市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)		
<p>3-2 ○上記3-1で回答した「学校応援団」の活動について、活動回数(年度末までの予定回数を含む)を、該当するセルに入力してください。</p>	ア	学習活動の支援 (読み聞かせ、ミシン等の支援、体験活動の支援、校外学習の付き添い、放課後や長期休業中の補習、ゲストティーチャー、学校行事の支援 等)	
	イ	安心・安全確保の支援 (登下校の見守り、安全パトロールの実施 等)	
	ウ	学校の環境整備の支援 (樹木などの剪定、花壇整備、校舎の修繕、図書の整理 等)	3
	エ	部活動・クラブ活動の支援 (部活動やクラブ活動における指導・助言、部活動の大会などにおける引率の補助 等)	
	オ	生徒指導の支援 (授業中や休み時間における校舎内の巡回、登下校時のあいさつ運動 等)	
	カ	環境教育の支援 (ビオトープの整備、アルミ缶回収などのリサイクル活動 等)	
	キ	学校ファームの支援	
	ク	その他 (入力した場合、自由記述欄に当該活動を入力してください。)	
	自由記述欄 (最後に【〇〇市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)		
<p>3-3 ○今年度の「学校応援団」の活動が実施された「実日数」(年度末までの予定日数を含む)を入力してください。</p>			3

【様式3】小学校集計表

設問	選択肢	回答欄																																										
0 学校名	○学校名を入力してください。 ※入力形式:○○市(町村)立□□小学校(中学校)	朝霞市立朝霞第八小学校																																										
1-3 ○「学校応援コーディネーター」として配置されている方の人数を入力してください。 昨年度より学校応援コーディネーターが「増えた」場合→1-4へ 昨年度より学校応援コーディネーターが「減った」場合→1-5へ 昨年度と学校応援コーディネーターの「増減がない」場合→1-6へ		2																																										
1-7 ○「学校応援コーディネーター」になっているのは、どのような方ですか。右の記号の中から当てはまるものを選び、該当するセルに人数を入力してください。 (「学校応援コーディネーター」1人につき、もっともよく当てはまるものを一つ選んでください。) →1-8へ	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="357 521 405 595">ア</td> <td data-bbox="405 521 908 595">現PTA関係者</td> <td data-bbox="908 521 1217 595"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 595 405 669">イ</td> <td data-bbox="405 595 908 669">元PTA関係者(PTAのOBなど)</td> <td data-bbox="908 595 1217 669"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 669 405 743">ウ</td> <td data-bbox="405 669 908 743">学校評議員・学校運営協議会等関係者</td> <td data-bbox="908 669 1217 743">1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 743 405 817">エ</td> <td data-bbox="405 743 908 817">学校支援グループの関係者(「おやじの会」等の保護者による会やNPO団体等)</td> <td data-bbox="908 743 1217 817">1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 817 405 891">オ</td> <td data-bbox="405 817 908 891">町内会長・区長・自治会長など</td> <td data-bbox="908 817 1217 891"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 891 405 965">カ</td> <td data-bbox="405 891 908 965">民生委員・児童委員</td> <td data-bbox="908 891 1217 965"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 965 405 1039">キ</td> <td data-bbox="405 965 908 1039">学校教育に理解のある地域住民 (元自治会長、元民生委員等も含む)</td> <td data-bbox="908 965 1217 1039"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1039 405 1113">ク</td> <td data-bbox="405 1039 908 1113">退職教職員</td> <td data-bbox="908 1039 1217 1113"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1113 405 1187">ケ</td> <td data-bbox="405 1113 908 1187">公民館等社会教育施設職員</td> <td data-bbox="908 1113 1217 1187"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1187 405 1261">コ</td> <td data-bbox="405 1187 908 1261">商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者</td> <td data-bbox="908 1187 1217 1261"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1261 405 1335">サ</td> <td data-bbox="405 1261 908 1335">企業関係者</td> <td data-bbox="908 1261 1217 1335"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1335 405 1408">シ</td> <td data-bbox="405 1335 908 1408">行政関係者</td> <td data-bbox="908 1335 1217 1408"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1408 405 1482">ス</td> <td data-bbox="405 1408 908 1482">その他 (入力した場合、自由記述欄にどのような関係の方が記入してください。)</td> <td data-bbox="908 1408 1217 1482"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1482 405 1547"></td> <td data-bbox="405 1482 908 1547">自由記述欄 (最後に【○○市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)</td> <td data-bbox="908 1482 1217 1547"></td> </tr> </table>	ア	現PTA関係者		イ	元PTA関係者(PTAのOBなど)		ウ	学校評議員・学校運営協議会等関係者	1	エ	学校支援グループの関係者(「おやじの会」等の保護者による会やNPO団体等)	1	オ	町内会長・区長・自治会長など		カ	民生委員・児童委員		キ	学校教育に理解のある地域住民 (元自治会長、元民生委員等も含む)		ク	退職教職員		ケ	公民館等社会教育施設職員		コ	商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者		サ	企業関係者		シ	行政関係者		ス	その他 (入力した場合、自由記述欄にどのような関係の方が記入してください。)			自由記述欄 (最後に【○○市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)		
ア	現PTA関係者																																											
イ	元PTA関係者(PTAのOBなど)																																											
ウ	学校評議員・学校運営協議会等関係者	1																																										
エ	学校支援グループの関係者(「おやじの会」等の保護者による会やNPO団体等)	1																																										
オ	町内会長・区長・自治会長など																																											
カ	民生委員・児童委員																																											
キ	学校教育に理解のある地域住民 (元自治会長、元民生委員等も含む)																																											
ク	退職教職員																																											
ケ	公民館等社会教育施設職員																																											
コ	商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者																																											
サ	企業関係者																																											
シ	行政関係者																																											
ス	その他 (入力した場合、自由記述欄にどのような関係の方が記入してください。)																																											
	自由記述欄 (最後に【○○市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)																																											
2-1 ○「ボランティア」として活動に携わる方の実人数の合計を入力してください。		57																																										

【様式3】小学校集計表

設問	選択肢	回答欄	
3-1 ○今年度の「学校応援団」について、どのような活動を実施しましたか。右の記号の中から当てはまるものを全て選び、該当するセルに「1」を入力してください。	ア	学習活動の支援 (読み聞かせ、ミシン等の支援、体験活動の支援、校外学習の付き添い、放課後や長期休業中の補習、ゲストティーチャー、学校行事の支援 等)	1
	イ	安心・安全確保の支援 (登下校の見守り、安全パトロールの実施 等)	
	ウ	学校の環境整備の支援 (樹木などの剪定、花壇整備、校舎の修繕、図書の整理 等)	1
	エ	部活動・クラブ活動の支援 (部活動やクラブ活動における指導・助言、部活動の大会などにおける引率の補助 等)	
	オ	生徒指導の支援 (授業中や休み時間における校舎内の巡回、登下校時のあいさつ運動 等)	
	カ	環境教育の支援 (ビオトープの整備、アルミ缶回収などのリサイクル活動 等)	
	キ	学校ファームの支援	1
	ク	その他 (入力した場合、自由記述欄に当該活動を入力してください。)	
	自由記述欄 (最後に【〇〇市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)		
3-2 ○上記3-1で回答した「学校応援団」の活動について、活動回数(年度末までの予定回数を含む)を、該当するセルに入力してください。	ア	学習活動の支援 (読み聞かせ、ミシン等の支援、体験活動の支援、校外学習の付き添い、放課後や長期休業中の補習、ゲストティーチャー、学校行事の支援 等)	50
	イ	安心・安全確保の支援 (登下校の見守り、安全パトロールの実施 等)	
	ウ	学校の環境整備の支援 (樹木などの剪定、花壇整備、校舎の修繕、図書の整理 等)	15
	エ	部活動・クラブ活動の支援 (部活動やクラブ活動における指導・助言、部活動の大会などにおける引率の補助 等)	
	オ	生徒指導の支援 (授業中や休み時間における校舎内の巡回、登下校時のあいさつ運動 等)	
	カ	環境教育の支援 (ビオトープの整備、アルミ缶回収などのリサイクル活動 等)	
	キ	学校ファームの支援	25
	ク	その他 (入力した場合、自由記述欄に当該活動を入力してください。)	
	自由記述欄 (最後に【〇〇市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)		
3-3 ○今年度の「学校応援団」の活動が実施された「実日数」(年度末までの予定日数を含む)を入力してください。		50	

【様式3】小学校集計表

設問	選択肢	回答欄
3-1 ○今年度の「学校応援団」について、どのような活動を実施しましたか。右の記号の中から当てはまるものを全て選び、該当するセルに「1」を入力してください。	ア 学習活動の支援 (読み聞かせ、ミシン等の支援、体験活動の支援、校外学習の付き添い、放課後や長期休業中の補習、ゲストティーチャー、学校行事の支援 等)	1
	イ 安心・安全確保の支援 (登下校の見守り、安全パトロールの実施 等)	1
	ウ 学校の環境整備の支援 (樹木などの剪定、花壇整備、校舎の修繕、図書の整理 等)	1
	エ 部活動・クラブ活動の支援 (部活動やクラブ活動における指導・助言、部活動の大会などにおける引率の補助 等)	
	オ 生徒指導の支援 (授業中や休み時間における校舎内の巡回、登下校時のあいさつ運動 等)	
	カ 環境教育の支援 (ビオトープの整備、アルミ缶回収などのリサイクル活動 等)	
	キ 学校ファームの支援	1
	ク その他 (入力した場合、自由記述欄に当該活動を入力してください。)	
	自由記述欄 (最後に【〇〇市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)	
3-2 ○上記3-1で回答した「学校応援団」の活動について、活動回数(年度末までの予定回数を含む)を、該当するセルに入力してください。	ア 学習活動の支援 (読み聞かせ、ミシン等の支援、体験活動の支援、校外学習の付き添い、放課後や長期休業中の補習、ゲストティーチャー、学校行事の支援 等)	4
	イ 安心・安全確保の支援 (登下校の見守り、安全パトロールの実施 等)	200
	ウ 学校の環境整備の支援 (樹木などの剪定、花壇整備、校舎の修繕、図書の整理 等)	2
	エ 部活動・クラブ活動の支援 (部活動やクラブ活動における指導・助言、部活動の大会などにおける引率の補助 等)	
	オ 生徒指導の支援 (授業中や休み時間における校舎内の巡回、登下校時のあいさつ運動 等)	
	カ 環境教育の支援 (ビオトープの整備、アルミ缶回収などのリサイクル活動 等)	
	キ 学校ファームの支援	3
	ク その他 (入力した場合、自由記述欄に当該活動を入力してください。)	
	自由記述欄 (最後に【〇〇市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)	
3-3 ○今年度の「学校応援団」の活動が実施された「実日数」(年度末までの予定日数を含む)を入力してください。		200

【様式3】小学校集計表

設問	選択肢	回答欄
0 学校名	○学校名を入力してください。 ※入力形式:○○市(町村)立□□小学校(中学校)	朝霞市立朝霞第十小学校
1-3 ○「学校応援コーディネーター」として配置されている方の人数を入力してください。 昨年度より学校応援コーディネーターが「増えた」場合→1-4へ 昨年度より学校応援コーディネーターが「減った」場合→1-5へ 昨年度と学校応援コーディネーターの「増減がない」場合→1-6へ		2
1-7 ○「学校応援コーディネーター」になっているのは、どのような方ですか。右の記号の中から当てはまるものを選び、該当するセルに人数を入力してください。 (「学校応援コーディネーター」1人につき、もっともよく当てはまるものを一つ選んでください。) →1-8へ	ア 現PTA関係者	
	イ 元PTA関係者(PTAのOBなど)	
	ウ 学校評議員・学校運営協議会等関係者	1
	エ 学校支援グループの関係者(「おやじの会」等の保護者による会やNPO団体等)	
	オ 町内会長・区長・自治会長など	
	カ 民生委員・児童委員	
	キ 学校教育に理解のある地域住民 (元自治会長、元民生委員等も含む)	1
	ク 退職教職員	
	ケ 公民館等社会教育施設職員	
	コ 商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者	
	サ 企業関係者	
	シ 行政関係者	
	ス その他 (入力した場合、自由記述欄にどのような関係の方が記入してください。) 自由記述欄 (最後に【○○市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)	
2-1 ○「ボランティア」として活動に携わる方の実人数の合計を入力してください。		570

【様式3】小学校集計表

設問	選択肢	回答欄
3-1 ○今年度の「学校応援団」について、どのような活動を実施しましたか。右の記号の中から当てはまるものを全て選び、該当するセルに「1」を入力してください。	ア 学習活動の支援 (読み聞かせ、ミシン等の支援、体験活動の支援、校外学習の付き添い、放課後や長期休業中の補習、ゲストティーチャー、学校行事の支援 等)	1
	イ 安心・安全確保の支援 (登下校の見守り、安全パトロールの実施 等)	1
	ウ 学校の環境整備の支援 (樹木などの剪定、花壇整備、校舎の修繕、図書の整理 等)	1
	エ 部活動・クラブ活動の支援 (部活動やクラブ活動における指導・助言、部活動の大会などにおける引率の補助 等)	1
	オ 生徒指導の支援 (授業中や休み時間における校舎内の巡回、登下校時のあいさつ運動 等)	
	カ 環境教育の支援 (ビオトープの整備、アルミ缶回収などのリサイクル活動 等)	
	キ 学校ファームの支援	1
	ク その他 (入力した場合、自由記述欄に当該活動を入力してください。)	150
	自由記述欄 (最後に【〇〇市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)	
3-2 ○上記3-1で回答した「学校応援団」の活動について、活動回数(年度末までの予定回数を含む)を、該当するセルに入力してください。	ア 学習活動の支援 (読み聞かせ、ミシン等の支援、体験活動の支援、校外学習の付き添い、放課後や長期休業中の補習、ゲストティーチャー、学校行事の支援 等)	20
	イ 安心・安全確保の支援 (登下校の見守り、安全パトロールの実施 等)	5
	ウ 学校の環境整備の支援 (樹木などの剪定、花壇整備、校舎の修繕、図書の整理 等)	
	エ 部活動・クラブ活動の支援 (部活動やクラブ活動における指導・助言、部活動の大会などにおける引率の補助 等)	
	オ 生徒指導の支援 (授業中や休み時間における校舎内の巡回、登下校時のあいさつ運動 等)	10
	カ 環境教育の支援 (ビオトープの整備、アルミ缶回収などのリサイクル活動 等)	150
	キ 学校ファームの支援	1
	ク その他 (入力した場合、自由記述欄に当該活動を入力してください。)	
	自由記述欄 (最後に【〇〇市(町村)・□□小(中)】と記載してください。)	
3-3 ○今年度の「学校応援団」の活動が実施された「実日数」(年度末までの予定日数を含む)を入力してください。		